

北海道ふるさと会連合会会報



2021年

No. 39

発行者 北海道ふるさと会連合会
編集 広報部 会
発行日 令和3年10月15日

事務局 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 (北海道東京事務所内) TEL・FAX 03-3592-0122

E-mail : hokkaido-furusatokai@bz04.plala.or.jp



奥尻島から見る落陽と無縁島

(写真提供：奥尻町役場)

海と空と太陽の島 奥尻島

北海道には508の島が存在するが、定住島は奥尻島、天売島、焼尻島、礼文島、利尻島。ふるさと会連合会唯一の離島ふるさと会が「東京奥尻島人会」(坪谷正人会長)である。奥尻島には離島特有のゆっくりとした生活時空と手つかずの自然という現代社会の癒しと憧れの世界がある。希少動植物の生育と恵み豊かなグルメの島。是非行ってみたい島、奥尻島



鍋釣岩



目次

「我ら！ 北海道ふるさと会連合会

絆を強く」

会長 新家 鶴男……………3

知事メッセージ

北海道知事 鈴木 直道……………4

北海道ふるさと会連合会加盟企業様……………4

東京オリンピック 札幌 マラソン&競歩

2021年8月5日～8日開催……………5

世界遺産となる叔母の家と

祖母の実家の畑……………5

北海道ふるさと会連合会組織図……………6

加盟ふるさと会 役員名簿……………7

北海道地図（加盟ふるさと会）……………14

東京旭川会……………18

東京厚岸会……………19

東京浦臼会……………20

東京ふるさと置戸会……………20

道東の面白方言20選……………21

東京北見会……………21

東京木古内会……………22

東京奥尻島人会……………22

東京くつつちゃん会……………23

東京札幌会……………23

東京滝川会……………24

東京秩父別会……………25

東京十勝池田会……………25

東京中標津会……………26

東京東神楽会……………27

東京美幌会……………27

東京美唄会……………27

北海道福島会……………28

東京天塩会……………29

北海道森町ふる里の会……………29

東京遠別会……………29

東京本別会……………30

東京余市会……………30

東京深川会……………31

東京ふるさと新得会……………31

シリーズ① 懐古 ふるさとの廃線

母と私の天北線

天北線（南稚内～音威子府）148.9km……………32

私の池北線ちほくせんの思い出……………32

昭和10年～昭和62年までオホーツク沿岸

を走っていた汽車 湧網線……………33

国鉄広尾線……………33

『旧深名線第3雨竜川橋梁』の行く末

人手を離れ大自然に身を委ねる……………34

道東の面白方言20選 解答……………34

シリーズ② ふるさと北海道の民話

足寄のアイヌ伝説

「姿を消したコロボックル」……………35

中標津民話

「愛染ニレ（ふたりのハルニレ）」……………35

北海道福島会 太田靖子さん逝く……………36

西島さんを偲んで……………36

編集後記……………40

協賛広告のご紹介

（16社）

読売広告社……………16

どうなんQ&A……………18

アルカディア市ヶ谷……………19

北海道フーディスト……………22

北海道銀行……………22

すずらん……………22

双文社……………22

松尾ジンギスカン……………23

八千代商会……………24

北洋銀行……………24

雪印メグミルク……………26

北海道新聞社……………29

日本郵便北海道支社……………37

北海道電力……………38

大和ハウス工業……………39

サッポロビール……………40



我ら！

北海道ふるさと会連合会

絆を強く

会長 新家鶴男

会員の皆様今日は。

皆様には平素から北海道ふるさと会連合会活動にご理解とご支援ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

まず、本年「集中豪風雨等による大災害」、「コロナウイルス感染等」で被害を受けた方々にお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます、謹んで哀悼の意を表します。合掌

社会は今、感染力の強いデルタ型コロナウイルス感染者の急拡散や医療態勢の逼迫、自宅療養者や重症者・死亡者の大幅な増加などにより非常事態宣言が発出されるなど非常に厳しい状況にあります。が、皆さまにはお変わりなくお過ごしのこととご推察いたします。デルタ型感染はまだしばらくの間、続くと思われますので、十分にお気をつけください。

さてこんな中、本年7月、念願の「北海道・北東北縄文遺跡群」が、ユネスコ世界遺産委員会により世界遺産として登録されました。うれしい限りです。連合会は今後も、この貴重な財産を守り・応援してまいります。皆様のお力添えをよ

ろしく願います。

コロナ禍で直前まで開催が危ぶまれていた東京五輪は、苦渋の決断の末、無観客で開催され、アスリートたちの奮闘が目覚ましく、史上最多のメダルラッシュのうちに8月8日閉会式で幕を閉じました。連日の競技中継が世間の話題となり、コロナ禍の重苦しい雰囲気を感じていた人々に久々に明るさを取り戻したのではないかと思います。過去の招致経緯を見ると、東京五輪開催を目指す動きは、昭和4年（1929年）、国際陸上競技連盟会長エドストレーム氏の来日が始まり、昭和9年に招致活動の開始が東京市議会で正式に決定された。昭和39年（1964年）、東京五輪大会開催（東京五輪音頭）、今回は2013年（平成25年）9月13日、第125次IOC総会で、東京が2020五輪大会開催都市に選ばれた（滝川クリステル女史がプレゼンした「お・も・て・な・し」発言は記憶にあると思います）。

今回の東京五輪はコロナ禍の中での開催であり、世界でもいまだかつて経験したことのない異例づくめの大会であったと思います。私自身もテレビ観戦を通じ、

日本選手が異口同音に「楽しくやりました」と笑顔で話し、逆境の中で自分を信じて「努力すれば報われる」という信念のもと、仲間とともに頑張り、互いの「絆」を強め支え合う姿に感動し涙がこぼれました。

それぞれの競技で明暗をわける喜怒哀楽はありましたし、十代選手の活躍が目立ち、彼らの「緊張しません」発言には驚かされました。

オリンピックの感動も多々ありましたが、パラ選手の素晴らしい活躍には何度も涙しました。パラ選手は14歳から66歳まで、平均年齢42歳という年齢構成です。特に、すべての選手が健常者でないハンディを克服し、人1倍いや5倍以上の努力と試練を打ち勝ち乗り越えてきていることを再認識させられました。また、視覚障害（盲目に近い）陸上選手の伴走者は「ガイドランナー」・走り幅跳び選手へ合図を送る人は「コーラー」・水泳選手にタインのタイミングを叩いて合図する人は「タッピング」などと言われ、ほとんどが選手と寝食を共にして、強く固い「絆」を培ってきたとのことでした。本当に驚きと感動を沢山いただきました。関係者の皆さん、選手の皆さん本当にお疲れさまでした。「ありがとう」「喝采を送ります」。

私が一番言いたいこと、連合会ははじめ各ふるさと会、企業等のイベント・行事などはこの1年半超に亘り殆どが中止の止むなきに至っております。

人は繋がりがあって関係性が生まれ生きられる。繋がりの中で「絆」「喜」「怒」「哀」「楽」を感じ発展します。3蜜の自粛で多くの人々に与えた「倦怠感・不信感・違和感」など病気ではない病は計り知れない損失を生んでいます。私はこのオリ・パラのアスリートたちから「努力は報われる」精神を改めて学びました。彼らはこのコロナ禍の中で、期待と責任を負いかつ、自分・仲間を信じ「絆」を強くして、ひたむきに頑張ってきたのです。「もしかすると開催されないかもしれない状況の中で」アスリートのひたむきな生きざまは私たちのお手本となるものです。私たちも「信じる者は救われる。報われない努力はない」です。

さて連合会広報部会は本年も、会報39号を届けてくれました（感謝です）。

その他の3部会も、出来ない中で今後を模索しておりますこと申し添えます。結びになりますが、私はこれからも、「気さくで楽しく愉快な仲間の集まり」を連合会の合言葉として、仲間同士が力を合わせ、北の大地「北海道」や「我がふるさと」の応援団として、微力ながら皆様と共に頑張っていく所存です。応援をお願いいたします。

会員の皆さん一緒に頑張りましょう。何をやるかではなく、何をしなければならぬか」です。

皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます、ご自愛ください。



知事メッセージ

北海道知事 鈴木直道

北海道ふるさと会連合会会報の発行に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

皆様には、平素より道政の推進に格別なご理解とご支援を賜るとともに、ふるさと北海道のため多大なるご尽力をいただいていることに、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期にわたり、各種イベント等が中止や延期を余儀なくされている中であって、このように会報を発行され、ふるさと北海道への変わらぬ想いを育み、交流を深められていることに、深く敬意を表します。

本年7月、ユネスコ世界遺産委員会において、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されました。コロナ禍にあつて、北海道の未来を照らす明るい話題となり、大変嬉しく思っております。

縄文遺跡群は、1万年以上にわたって採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える貴重な遺産であり、SDGsにも通じる持続可能な地域社会の実現を目指す私たちにとって、学ぶべき貴重な示唆が多くある大切な「宝」です。

道としては、遺跡群の適切な保存と活用

はもとより、縄文が地域の誇りとなり、北海道の新たな活力に繋がるよう、アイヌ文化や自然、食といった既に広く知られている本道の魅力とも連動しながら、世界に誇る北海道価値として国内外に発信してまいります。また、現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築に最優先で取り組んでおりますが、その上で、リモートワークやワーケーションといった新たな働き方を捉えた関係人口の創出、さらには中長期的な観点から、デジタル化やカーボンニュートラルなど、ポストコロナを見据えた地域創生の取組にも挑戦してまいります。

本道を愛する皆様には引き続き、こうした取組にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後とも、ふるさと北海道を力強く応援していただき、道内各市町村の活性化にお力添えをいただければ幸いです。

結びに、北海道ふるさと会連合会のますますのご発展、並びに皆様のご活躍とご健勝を祈念し、私からのメッセージといたします。

北海道ふるさと会連合会加盟企業様

サッポロビール株式会社

広域法人本部 法人統括部

法人営業部長 傳田 靖

株式会社 AIRDO

代表取締役社長 草野 晋

北海道新聞社 東京支社

支社長 小林 巧

株式会社 マツオ
(松尾ジンギスカン)

代表取締役 松尾 吉洋

雪印メグミルク株式会社

常務執行役員 北海道本部長

佐藤 雅俊

大和ハウス工業株式会社

北海道マンション事業部
販売事務所長

戸田 裕之

日本郵便株式会社
北海道支社

北海道支社長 及川 裕之

株式会社 北見ハッカ通商

代表取締役 永田 裕一

ポッカサッポロフード&
ビバレッジ株式会社

広域開発営業部長 吉原 一義

株式会社 まるごと北海道

代表取締役 一宮 弘典

北海道フードフロンティア
株式会社

代表取締役社長 生熊 康延

東京オリンピック 札幌 マラソン&競歩

2021年8月5日～8日開催

1972年2月北海道で初の冬季オリンピックが開催され笠谷、金野、青地の3選手の日の丸飛行隊表彰台独占は全国民はもちろん特に地元道民の興奮と喜びは大変なものだった。若かった小中高生はあの時の日の丸と君が代は今でも深く心に残っているだろう。あれから約50年後の2021年の夏、東京オリンピック陸上競技の最も注目のレースであるマラソンが北海道札幌で開催された。

コロナ禍で直接観戦は自粛となり現地にいながら信じられないテレビ観戦となった。

しかも8月に入っても30度以上の真夏日が連続し選手は疲労困憊のレースを強いられた。

優勝選手が胸に水袋を入れてのゴールもあった。期待された世界記録は出なかったが苛酷な暑さの中、競歩20km池田選手の銀、山西選手の銅は感動のゴールだった。コロナ禍で沿道観戦に自粛規制がかかり50年前の様な選手への直に応援を体験出来なかった子供達には残念であったがマラソン・競歩が成功裡に無事実施出来た事は来る2030年冬季札幌オリンピック誘致に大きくアピール出来たのではない。

(連合会 広報部)



世界遺産となる叔母の家と

祖母の実家の畑

東京伊達会 相談役 高橋郁夫



この記事が会報に載って皆さまの目に触れる頃には「北海道・北東北縄文遺跡群」が世界遺産と認められ、その一覧表に掲載されていることでしょう。

この遺産群のひとつに、「北黄金(きたこがね)貝塚」が入っておりますが、そのことについてご報告致します。

私の父の兄弟姉妹は、6男5女の11人でした。その中で8番目に生まれた3女の叔母が嫁いだ先が、貝塚遺跡が埋もれた畑を所有していた上坂家でした。上坂家は明治27年に福井から移住してきた家でした。実はこの畑の東隣の畑からも遺跡が見つかっており、その所有者も、私の祖母の実家で明治26年香川から移住してきた葛原家の畑でした。昭和23年頃から伊達高等学校教諭の峰山巖先生が考古学の面から遺跡発掘にのめり込み「伊達高校郷土研究部顧問」として部員を募り、又転勤先の「札幌医科大学講師」という勤務の中で貝塚・埋葬された人骨・狩猟生活などが定住遺跡の発見・水場の遺構発見等、考古学上次々と大きな成果を上げることとなり、遂に縄文時代の貝塚遺跡として大変価値のある地域ということで上坂・葛原両家の畑は昭和62年国の史跡指定を受け買い上げとなり永久保存されることになりました。

普通一般に貝塚とは、その時代でのゴミ捨て場であらうと思われていますが、この地域の貝塚は5か所から見つかっており、そのうち最も大きな規模の「Aダッシュ地点貝塚」と云われる縦約80m横約30mのものを発掘調査した結果、積み重なった貝塚の底部・中間部などから土

器や石器などと一緒に丁寧に埋葬されている13体の人骨が発見されたのです。貝塚には他に狩猟によって得られた鹿・熊・魚類など山の幸・海の幸の食べた残りのものも含まれ生き物だった全ての物に対して感謝の思いを込め葬った場所であると結論づけられています。塚の上には盛り土もされておりますから、私見で申し上げるには大変おがましいのですが、奈良・大阪を始め各地に散在している古墳の創成物につながるのではないかと考えてなりません。

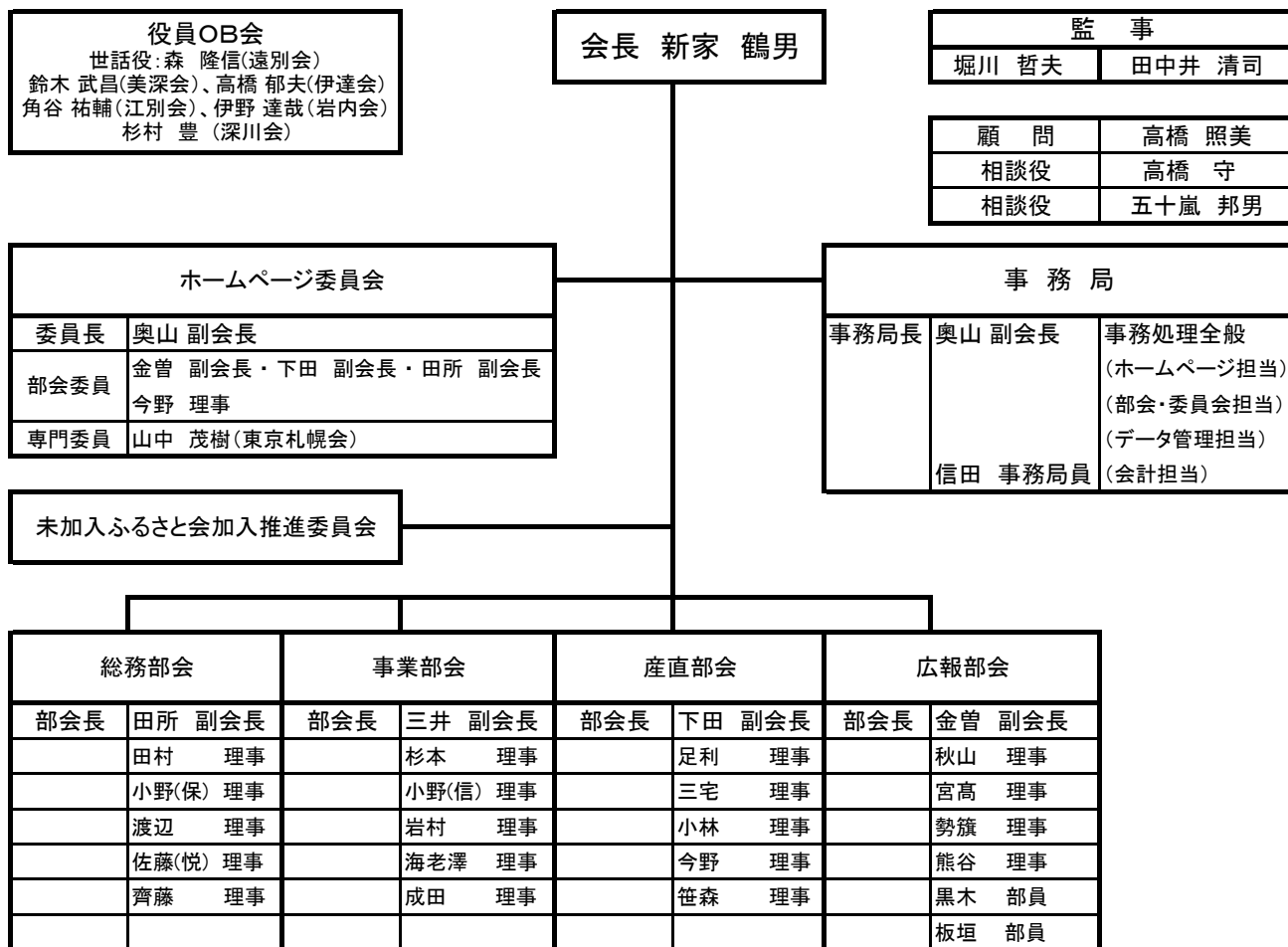
親戚2軒が所有していた土地が「世界遺産」になる、このことは私ばかりか親戚一同は勿論のこと大喜びしており、北黄金町、伊達市としても今頃はさぞ祝いの準備におおわらわの呈を表していることでしょう。

ゆったりと癒される思いのする静かな場所です。是非訪れて古の生活ぶりを感じ取って頂ければと願っております。



北海道ふるさと会連合会組織図

令和3年9月 現在



事務局・各部会・委員会の業務内容

事務局	・各部会・委員会との連絡・調整、三役会・理事会の運営、名簿等データの管理、 予算・決算・会費徴収その他会計全般に関する事項、北海道庁他関係団体との連絡・調整、 その他、各部会・委員会の所管事項に属さない事項
総務部会	・総会・懇親会・懇談会・講演会に関する事項
事業部会	・会員相互の親睦と会員の増強に関する事項(親睦旅行、野球観戦、ゴルフ会、園遊会等の企画・実行)
産直部会	・産直フェアに関する事項
広報部会	・会報の発行、周年記念誌等の特別号の発行、その他広報活動に関する事項 令和3年度の主な活動: 会報39号の発行
HP委員会	・ホームページ、メール配信に関する事項
未加入ふるさと会 加入推進委員会	・未加入ふるさと会の加入推進活動
役員OB会	・役員経験者の親睦交流の会(2019年7月30日発足) 主な活動: 令和元年6月に交流会開催、令和2年末に情報誌1号発刊

今後の行事予定について

- * 1 令和4年1月22日(土)に開催予定の新年交礼会については11月末にお知らせいたします。
- * 2 例年10月に開催しておりました「北海道産直フェア」は、令和2年・3年とオリンピック開催の為に中止しましたが、来年10月開催にむけて準備をすすめてまいります。

加盟ふるさと会 役員名簿

渡島総合振興局

北海道森町ふる里の会

会長

副会長

幹事

監事

幹事

幹事

幹事

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

顧問

北海道道南会

会長

副会長

名譽会長

副会長

会計監査

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

常任幹事

龍崎千遥
松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

龍崎千遥

松田有司

相談役
会長
副会長

相談役

会長

副会長

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

相談役

角谷和雄
鎌田喜博
森恵理子
中村昭則
笹森昭三
対馬昭文
山登正也
出羽拓之
上口孝之
上田いね
藤原美恵
藤谷綾子
田中美奈子
花田善春
木田正子
尾崎司宙

角谷和雄

鎌田喜博

森恵理子

中村昭則

笹森昭三

対馬昭文

山登正也

出羽拓之

上口孝之

上田いね

藤原美恵

藤谷綾子

田中美奈子

花田善春

木田正子

尾崎司宙

柴田敬

高森光司

鈴木郁夫

桂本宏二

安本智子

中村好樹

熊谷丈博

朝倉丈博

澤口一勝

山瀬重一

島田久子

齋藤進

齋藤進

齋藤進

齋藤進

小林セイ子
松谷昭一
山本則子
東出邦雄
小池静湖
多田勲
後藤健三
日馬時子

小林セイ子

松谷昭一

山本則子

東出邦雄

小池静湖

多田勲

後藤健三

日馬時子

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

坪谷正人

片山健也
逢坂誠二
高橋守夫
穂山貞三
羽生昭三
内藤則三
小野亮子
加山信一
笠原哲一
田中鉄美
菅原徹
斉藤征男
柳田征男

片山健也

逢坂誠二

高橋守夫

穂山貞三

羽生昭三

内藤則三

小野亮子

加山信一

笠原哲一

田中鉄美

菅原徹

斉藤征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

柳田征男

北海道
常駐理事
大駐理事
常駐理事
監査役

北海道

常駐理事

大駐理事

常駐理事

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

監査役

本村和也
相原正利
野村健司
納谷真二
辻博行
辻博行
泉晃子
壁治己
鈴木金三

本村和也

相原正利

野村健司

納谷真二

辻博行

辻博行

泉晃子

壁治己

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

鈴木金三

東京小樽会

会長
副会長

理事

丸山道子
丸山雅明
島田英重
松田幸久
中塚晶子
田中秀樹
鶴田義幸成田芳生
上野淑子
齋藤慎二
沼生智二
青鹿匡司
大田利昭
岡田明彦
北村栄子
北村治郎
坂本信之
坂本誠二
佐藤誠二
清水川政博
須田一平
高橋敏匡
永山忠義
橋本章
松田憲幸
横堀加寿夫
佐竹茂市郎

会計監事

胆振総合振興局

東京あぶた・とうや湖会

会長

副会長

事務局長

篠原博
遠山勝子
齋藤齋事務局長
代行
常任幹事
監事
幹事

東京白老会

副会長
理事

監査

東京伊達会

相談役
会長
副会長事務局長
幹事

監事

東京とまこまい会
会長武田康祐
小笠原義則
三浦康明
関文司
永山光敏
新井敏
堀川哲夫
鈴森二朗
牧千恵子
正宗卓
小松俊文
村上幸博
山手章敦
林敦
高橋郁夫
木村義隆
小野信義
永井富士雄
藤谷昌敏
斎藤豪
扇功
八嶋信雄
小野洋子
栗本めぐみ
阿部咲枝
斎藤弘司
石橋弘夫
笹木満千子
加来正年

副会長

相談役

顧問

幹事

会計監事

事務局長

東京登別げんきかい

会長
副会長事務局長
事務局次長石堂鉄雄
遠藤直子
大我晴敏
岡本泰憲
海津尚夫
関根久修
松倉博文
岩倉良久
板谷知久
宮本知久
天野佳信
大竹秀幸
加藤吉明
齊藤学一
齊藤竜志
佐藤正恵
東海林勇
高橋尚樹
田中健
山本寛
眞田哲三
高橋兼春
田山地清美
川西信二
門山泰明
宮崎恵
宮高隆
武藤眞幸
大和田るみ

幹事

会計

会計監査

顧問

サポーター

東京室蘭会
顧問会長
副会長兼事務局長
監事石本弘幸
笠原龍司
西坂和行
藤島道裕
菊池教泰
五十嵐敦司
鎌野朝子
高橋岐武
桐圭佑
篠原綾子
川上紀均
沼澤良一
佐藤勝彦
竹村英彦
山下夫
佐藤和子
武藤豊子
宮森和子
清水政子
渡邊敦子
井上邦彦
沢田昇
高田尚史
塚田彦
山田和彦
佐藤育男
米谷寿明
八百坂仁
白崎順夫
山崎公夫
小笠原弘志
高橋美紗子常任幹事
事務局次長
常任幹事
事務局次長
常任幹事
事務局次長
事務局次長

常任幹事

東村誠司
浅正樹
加藤由鶴
小田桐浩明
鎌田かな子
岡野益美
佐藤由美子
富澤康徳
馬場康徳
長谷川泰嗣
平川陽一
増永順
木下二郎
新保勝也
穴田喜美子
尾張俊一
金丸善樹
亀田谷禎範
亀田谷眞理子
木村章人
窪田哲夫
工藤哉
小泉典子
小林澄子
笹谷仁則
笹谷仁則
鈴木政剛
鈴木政志
副島政志
高嶋威男
富樫晃
中村みか
橋本知加士

幹事	副会長	会長	東京江別会		事務局	事務局長	副事務局長	監査	会計	幹事	副会長 (会長代行)	副会長	顧問	東京あびら会		最高顧問																					
			角谷祐輔	岡田光平		木村誠	川口淳							阿部哲也	渡邊匡人	真保弘之	広部公聡	内藤貴之	三橋顕	菅原真知子	山本政幸	佐藤邦男	駒米隆己	吉田勝己	三瓶広幸	牧田弘満	及川秀一郎	高村正大	大沼みずほ	高村正彦	矢田部久美	美村孝之	美村ゆり子	三上知恵子	三上正芳	深谷恵介	花和祐美
顧問	監事	理事	東京恵庭ふるさと会		副会長	会長	監事	顧問	相談役	幹事	幹事	幹事	幹事	東京札幌会		常任幹事											宮本剛央										
			奥山範夫	本田正則		八矢賢次	坂上みどり	大友喜則	田窪稔	吉田憲吾	佐々木昭雄	金曾裕一	渡邊克己	山根早苗	森田茂才	福崎芳枝	秦美代	冨田信二	道免順	清水宜之	数納壽	大江浩人	岩浪久美	山中茂樹	宮永明子	坂東一将	奥園恵美子	道見由貴	松代洋子	秦豊昭							
会長	副会長	理事	東京様似会		副会長	会長	顧問	相談役	相談役	幹事	幹事	幹事	幹事	東京浦河会		副会長											中井保郎										
			橋爪年幸	高橋守		五十嵐紀男	上田尚史	白浜長孝	池田俊一	折戸政利	富田達美	平野伸一	賀集民平	栗原乃子	田熊ルミ子	熊谷信	木田哲量	石川英隆	牧田親和	鵜木定治	中村達彦	野田幸栄	古市寛司	西田達雄	多田弘	杉本喜吉											
副会長	副会長	理事	東京滝川会		副会長	会長	顧問	相談役	相談役	幹事	幹事	幹事	幹事	東京岩見沢会		副会長											姉崎日出士										
			加藤晃章	栗原茂実		會津徹	岡本壮平	森田俊	戸所英夫	坂下邦夫	伊東順一	渡辺雅貞	佐藤雅樹	檜邊芳樹	木村学	渡邊芳樹	南武輝	中沢健次	永田清	田巻松雄	東日出男	小黒潔彦	菅原靖彦	山田淳	東川義晴	皆川史	相馬勝晴	小林敏邦	森嶋るり子								
副会長	副会長	理事	東京美唄会		副会長	会長	顧問	相談役	相談役	幹事	幹事	幹事	幹事	東京秩父別会		副会長											三輪秀一										
			堀野眞孝	大石章子		三井照夫	鴛海徹	田坂勝芳	東野範子	宇佐美雅智子	横山正弘	萩原侑子	藤田日出子	桃野知子	飯島洋治	桑原正巳	寿崎裕征	相馬功利	大西倫利	宮本信幸	吉川顯成	月館聡	田埜寧	大久保朋彦	歌原邦芳	石橋弘美	今野利春	田湯智康	笹川裕子								

[illegible]

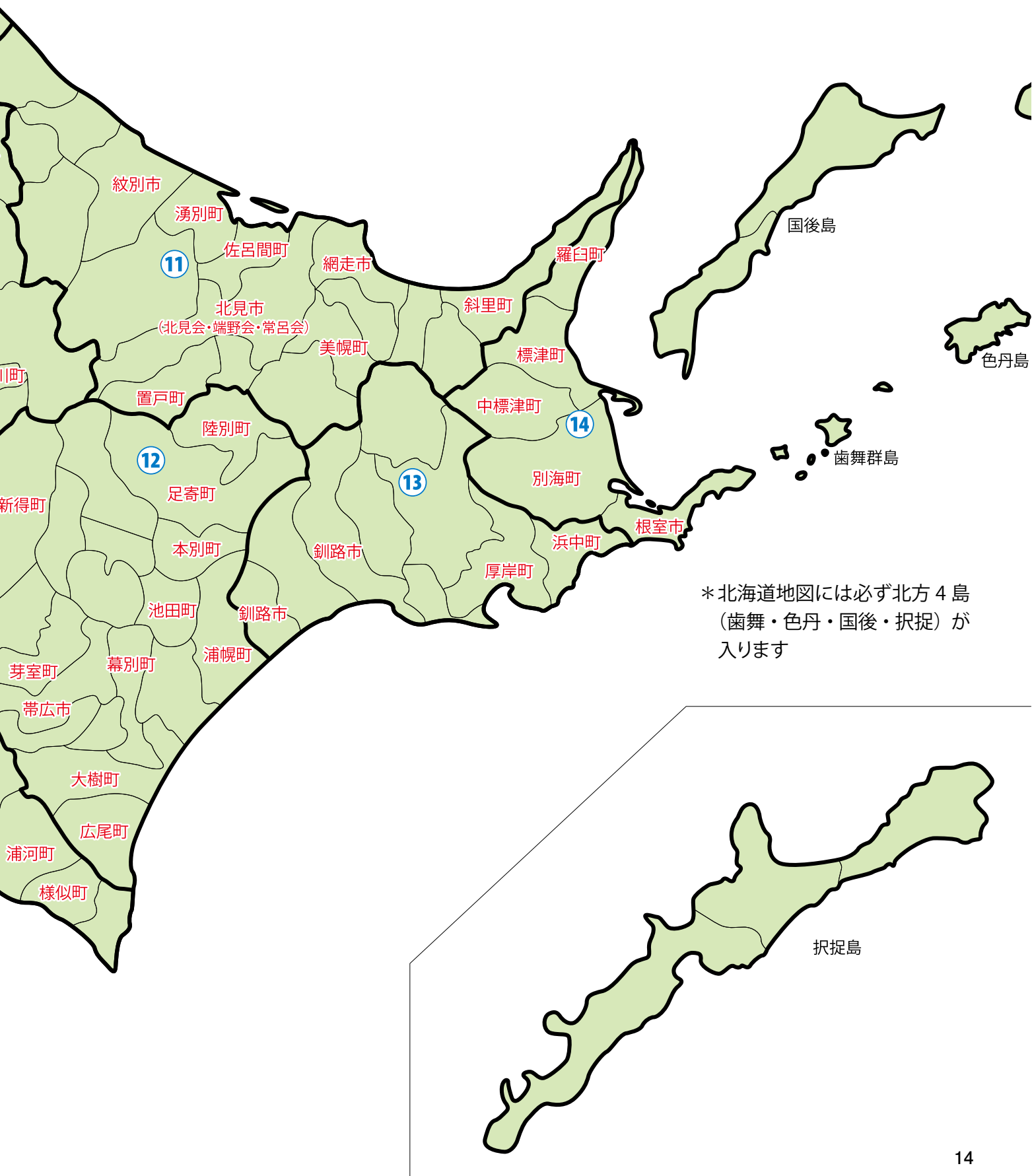
東京東神楽会										東京美瑛会										東京美深会										東京比布会										東京当麻会										東京ネット総合振興局										オホーツク総合振興局										東京網走会										東京ふるさと置戸会										東京サロマ会																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
今 信夫										藤 原 一 也										安 井 規 雄										増 田 晴 紀										石 井 吉 典										田 丸 征 子										石 原 幸 雄										金 塚 聰 之										大 城 幣 次 郎										河 治 順 一										田 中 恵 子										細 川 芳 則										村 田 敏 章										藤 田 篁 英										佐 渡 伸 二										関 口 勝 弘										武 井 比 呂 子										中 竹 正 純										横 田 茂										片 脇 義 正										相 談 役										阿 部 正 夫										(木村庄之助)										古 本 勝 美										飯 塚 和 子										溝 手 修 實										下 觸 忠 雄										稲 場 仁										佐 野 雄 二										瀧 栄 一										大 場 省 介										前 田 晃										葉 梨 か ほ る										マーク・シユミツヒ										福 山 恒 昭										佐 藤 悦 啓										中 里 早 苗										野 口 佳 一										山 内 活 良										桑 原 良 一										五十嵐トシ子										奥 村 幸 子										大 内 一 峰										三 島 研 二										元 木 昭 秀										鳥 羽 博 之										牧 野 正 哲										山 川 哲										深 瀬 和 昭										平 本 信 夫										谷 越 勉										松 尾 孝 子										植 村 勇										高 島 芳 美										佐 藤 幸 博										天 野 利 美 代										天 野 利 美 代										岡 田 宏 陽										松 尾 鉄 之										水 谷 洋 一										大 西 秀 弼										高 橋 仁										水 野 智 重										有 南 勝 子										諸 留 洋 史										中 西 仁 史										齊 藤 正 人										熊 谷 直 三										下 谷 幹 生										清 水 英 雄										大 高 誠 司										藍 川 昌 子										小 田 島 司										金 澤 こ の み										北 山 美 里										木 田 敦 子										執 印 真 智 子										勢 籬 加 代 子										高 島 政 晴										高 野 源 弘										働 々 敏 明										中 川 利 昭										西 田 幹 夫										花 田 健 司										坂 東 叙 子										松 田 美 恵 子										山 口 史 子										飯 塚 孝 子										宮 森 勝										高 橋 和 憲										石 井 敏 明										石 澤 隆 光										遠 藤 千 代 子										高 木 靖 雄										相 澤 久 俊										石 澤 勝 信										板 山 秀 樹										榎 並 和 昭										岡 田 康										坂 本 登										坂 本 八 州 子										三 好 き ぬ え										千 葉 タ ミ										中 野 信 利										横 山 勲										後 藤 義 英										吉 田 誠										鈴 木 富 博										井 戸 理 恵 子										古 賀 恵 美 子										嵩 正 茂										二 俣 正 光										鈴 木 富 雄										中 橋 雅 人										渡 辺 由 紀 子										阿 部 光 明										角										村 本 健 二										村 本 和 世										井 口 暁										猪 野 間 裕										作 田 宗 一 郎										石 渡 俊 弘										釜 池 徹										吉 田 勝 次 郎										加 藤 ケ イ 子										馬 場 真 樹 子										足 利 稔										渡 辺 秀 親										浦 島 外 吉										平 瀬 省 三										宇 佐 貴 雄										杉 谷 博 利										近 藤 定 夫										松 山 ヤ ヨ エ										高 橋 貢										日 向 洋 子										西 沢 孝 洋										宇 佐 貴 雄										(兼 任)										(兼 任)										渡 辺 秀 親										(兼 任)										林 宣 次										茂 木 久 雄										吉 野 躬 行										三 宅 雅 久										船 津 政 吉																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事										理 事									

事務局長 事務局次長	土橋幸博	野村利之	佐藤公保	村木恵美子	吉本博	柳下妙子	佐藤禎伸	顧問	在京端野会	会長 副会長	富塚喜一 田中淑乃 谷川義雄 中沢利美 佐藤悦子 國武悦子 佐伯進 保木元幸雄 川口重忠 池田好美	東京常呂会	会長 副会長	二俣正光 勢籙加代子 井出祐子 佐藤喜幸 鈴木哲弘 鈴木修司 鈴木太治 猪野間裕 菅野輝一郎 上田涼子 松田レイ子 小倉冴子 鎌倉フキ子 国枝登	事務局長 事務局員	事務局役員													
監査役	多田吉明	本田幸則	鴨沢京子	後藤寛	遠田征子	安藤とよ子	東京美幌会	会長 副会長	八嶋忠雄 市川冬兵衛 龍瀧浩三 正木正雄 我妻誠夫 漆原康夫 小椋勲 折目茂範 宮脇岑生 佐藤由太郎 真下久美子 市川さち 矢野茂 山口幸造 近藤千恵子 瀬尾洋子 柳田和子 川尻英雄 猪瀬修 池野本馨 島馨	相談役 顧問	東京紋別会	会長 副会長 事務局長 幹事	竹澤イチロ 田中英樹 茗作豊人	理事															
幹事監査 相談役	稲島美智子	松里繁義	田岡昭洋	十勝総合振興局	東京あしよる会	会長 事務局長 顧問	湯浅徳弥 久慈優子 五十嵐邦男	東京十勝池田会	会長 副会長	陶久清 前田剛志 陶久要 羽磨和世 福田和之 松本正三	事務局員 会計	東京十勝浦幌会	会長 副会長	山田清志 市川孝治	東京帯広会	会長 副会長	森田邦雄 田中稔	東京ふるさと新得会	会長 副会長 事務局員 会計監査	貴戸衛 是村恭子 武田正信 辻内秀敏 早坂政明 岩元喜代子 波多野芳雄 久保正行 桜庭貞光	理事								
事務局長 事務局次長 事務局員 幹事	石子隆範	富樫博子	工藤泰勝	蜂谷進	栗城重文	成田淑子	金澤和生	池山梅子	白石恵子	箕浦富雄	渡部昭信	秋山憲一	浜田正利	湯浅佳弘	太田真樹	平川直樹	大野義勝	参与	東京大樹会	会長 副会長	海老澤栄一 田中井清司	東京広尾会	名誉会長 会長 副会長	土谷祐大 岡田金一 山村享 山本耕治 吉田正己	監事	東京本別会	顧問 会長 副会長	前田廣治 新津悦男 陶久悦子 石井豊	副会長
事務局員 事務局次長 事務局員 幹事	横川義洋	大久保タイ子	千葉恵美子	千葉幸雄	舟橋京子	中川正幸	東京幕別会	名誉会長 会長 副会長	勝山昌 黒島一郎 藤崎榮二 吉本雅幸 高津靖夫 松浦博明 土田勝啓 加藤郁子 須田千鳥 銭谷美深	東京芽室会	会長 副会長 事務局員 幹事	栄前田勝良 梶澤政治	東京陸別会	会長 副会長 事務局員	宮崎民雄 植田英範	釧路総合振興局	東京厚岸会	会長 副会長	中村武史 池田澄子 市川正美 佐藤昌義 安藤正義 宗石昭子	幹事									

北海道ふるさと会連合会加盟の市町名

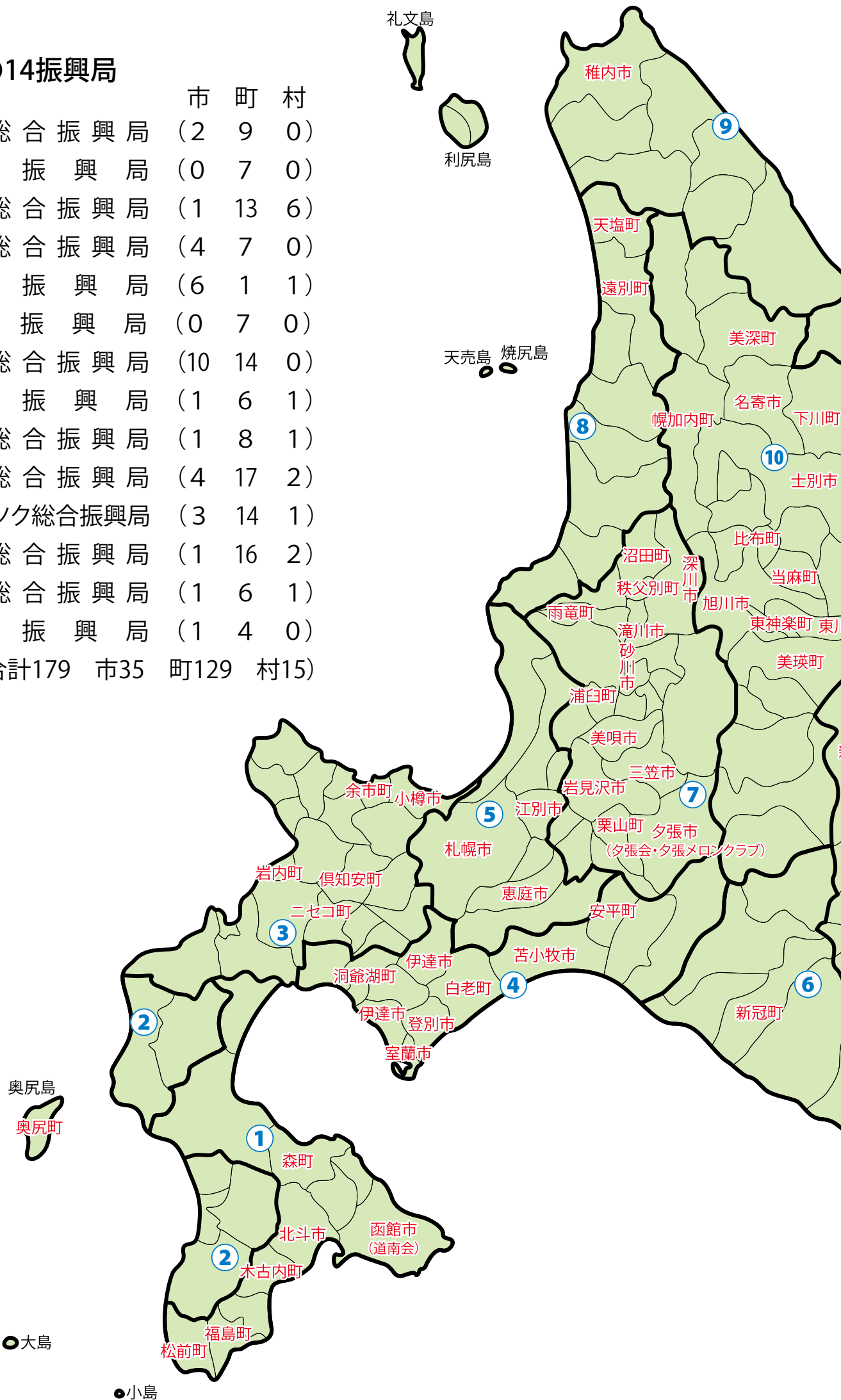
＊他に「いたばし北海道人会」「柏・北海道人会」「神奈川県・北海道道人会」 があります。

＊現在加盟ふるさと会 84会



北海道の14振興局

	市	町	村
①渡島総合振興局	(2	9	0)
②檜山振興局	(0	7	0)
③後志総合振興局	(1	13	6)
④胆振総合振興局	(4	7	0)
⑤石狩振興局	(6	1	1)
⑥日高振興局	(0	7	0)
⑦空知総合振興局	(10	14	0)
⑧留萌振興局	(1	6	1)
⑨宗谷総合振興局	(1	8	1)
⑩上川総合振興局	(4	17	2)
⑪オホーツク総合振興局	(3	14	1)
⑫十勝総合振興局	(1	16	2)
⑬釧路総合振興局	(1	6	1)
⑭根室振興局	(1	4	0)
(合計179 市35 町129 村15)			



札幌市
中央区!

〈 ふるさと連合会の皆様へ 〉

アクティブシニア向け 分譲マンションのご案内

24時間・365日専任スタッフ常駐

医療機関と連携した安心サポート



適切に対策をとることで健康な状態に戻ることができる時期ともされ、きちんと取り組むか否かが以降の人生を大きく左右するのです。

『人生100年時代』が到来。長くなった人生をイキイキと暮らすために、今注目されている「フレイル」の予防に取り組んでいますか? 「フレイル」とは、「健康」と「要介護」の間の時期に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指します。多くの方が「フレイル」を経て要介護に至るため、いかに予防するかが健康を維持するための重要なポイントなのです。

人生を愉しむ鍵は
「フレイル」にあり!

この先の健康に不安はありませんか?
「要介護」にならないために!
知っておくべき「フレイル」とその予防

右記は「フレイル」予防に必要な3つの要素です。運動や食事に気をつけている方は多いかもしれませんが「人とのつながり」は十分ですか? 例えば趣味の集まりに参加するなど「社会や人との接点」を持つことは、実は運動よりも健康への影響が大きいという調査結果が出ています。とはいえ今すぐ「つながり」を増やすのは簡単ではありません。そんな時は外部のサービスを利用してみるのも良いかもしれません。



【「フレイル」予防の3大要素】

どう取り組みればいい?
「フレイル」予防とは

[イニシアグラン札幌イースト] ■全体概要 ●所在地/北海道札幌市中央区北四条東七丁目375(地番) ●交通/地下鉄南北線「さっぽろ」駅21番出口より徒歩11分、地下鉄東豊線「さっぽろ」駅21番出口より徒歩11分、函館線「札幌」駅南口より徒歩16分 ●総戸数/203戸(分譲対象住戸202戸、医療関連施設等区画1戸)、他管理事務室1戸等 ●構造・規模/鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上14階建 ●敷地面積/11,542.96㎡(本団地全体) ●建築面積/6,445.11㎡(本団地全体) ●建築延床面積/31,302.76㎡(本団地全体) ●用途地域/近隣商業地域 ●分譲後の権利形態/土地:団地建物所有者全員の再開発事業に基づく権利変換計画に定められた割合による敷地利用権(所有権)の共有、建物:専有部分:区分所有権 本マンション共用部分:区分所有者全員の専有面積割合による共有、本団地共用部分:団地建物所有者全員の再開発事業に基づく権利変換計画に定められた割合による共有 ●竣工時期/2021年11月下旬予定 ●入居時期/2022年1月下旬予定 ●事業主/北4条6周辺地区市街地再開発組合 ●売主/株式会社コスモスイニシア ●管理会社/大和ライフネクスト株式会社 ●管理形態/管理組合結成後、大和ライフネクスト株式会社に委託(管理形態:巡回) ●建築確認番号/第ERI-19015391号(令和元年6月28日) 第ERI-200066616号(令和2年4月9日)(変更確認) 第ERI-20018911号(令和2年6月23日)(変更確認) 第ERI-20032315号(令和2年10月20日)(変更確認) ●施工会社/施工(建設、請負) フジタ・岩田地崎建設・田中組 特定建設工事共同事業体 ●駐車場/敷地内 平置き身障者用 5台収容 本団地内自走式立体駐車場 80台収容 敷地内 月額 25,000円 本団地内自走式立体駐車場 月額 18,700円 ●自転車置場/66台収容(平置き) 月額 300円 ●サービス費/一人目 月額 31,900円 二人目以降 一人につき月額 15,950円 ●主たる設備/電気:北海道ガス株式会社、ガス:ガス小売事業者、水道:札幌市水道局・北海道ガス株式会社 ●その他/株式会社コスモスライフサポートによる第三者管理方式 ■分譲中/販売概要 ●先着順申込受付中 ●販売戸数/42戸 ●価格/2,968万円~6,238万円 ●最多価格帯/3,100万円台(4戸) ●間取り/1LDK~3LDK ●専有面積/41.63㎡~82.44㎡ ●管理費/21,600円~42,800円(月額) ●修繕積立金/4,900円~9,800円(月額) ●修繕積立基金/416,300円~824,400円(入居時一括) ●バルコニー面積/8.16㎡~35.07㎡ ●お問い合わせ/営業時間/定休日/札幌リライフレジデンスギャラリー 0120-1248-22 水・木・第3火曜日定休(祝日は営業)(夏季・年末年始休暇有り) 平日 11:00~16:00 土日祝日 10:00~18:00 ■モデルルーム公開状況/モデルルーム公開中 ■会社情報/株式会社コスモスイニシア 国土交通大臣免許(12)第2361号(一社)不動産協会会員(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟 東京都港区芝5-34-6 03-5444-3530 ■注意事項/●専有面積は壁心面積であり、登記面積は記載の専有面積より若干少なくなります。予めご了承ください。●先着順申込受付につき、販売済みの場合はご了承ください。●お申込時には、印鑑、直近2年分の収入証明書、本人確認資料(運転免許証、健康保険証等)をお持ちください。詳細はお問い合わせください。●販売価格には建物についての消費税が含まれています。●広告有効期限/2021年10月31日 ※本団地内自走式立体駐車場については、日本パーキング株式会社と直接契約していただきます。



【主な共用空間】

- カフェダイニング
- プレイルーム
- ミュージックスタジオ
- ホワイエ
- 多目的ルーム
- 大浴場
- 貸切風呂
- ミーティングルーム
- ゲストルーム 他

多彩な空間&サポートで
愉しみながら健康に！

「フレイル」予防など安心のサポートと
分譲マンションの住み心地で快適な毎日を

つながる



- 入居者同士のサークル活動やイベント開催をスタッフがサポート
- 誰でも気兼ねなく参加できるように支援いたします

動く



- 体操教室など積極的に身体を動かすプログラムをご用意
- 「桜散策会」など楽しみながら自然と運動できるイベントも多数

食べる



- 栄養バランスと味にこだわった和洋中の多彩なメニュー ※1
- 「プレミアム食事会」など食がテーマのイベントを開催予定

※掲載の完成予想CGは図面を基に書き起こしたものであり、実際とは異なる場合があります。植栽につきましては特定の季節・ご入居時の状態を想定して描かれたものではありません。外観の設備機器につきましては、表現上省略しております。※共用施設の設備、備品、サービス内容については計画段階のものであり、今後変更になる場合がございます。また共用施設の使用にあたっては管理規約・使用規則を遵守してください。※1.食事の提供は夕食のみとなります。サービス内容については計画段階のものであり、今後変更になる可能性がございます。また、各種サービスは有償になる場合がございます。



「イニシアグラン札幌イースト」が誕生するのは、札幌の中心部。周辺ではより住みやすい街づくりを目指して複数の再開発が進行しています。生活圏には百貨店や娯楽施設・文化施設が充実しており、毎日の楽しみが尽きない住環境です。

進化が加速する
札幌中央区が生活エリア

※掲載の札幌都心再開発概念マップは、地図を基に簡略化して書き起こしたもので位置、距離等は実際とは異なります。[開発予定事業] □北4東6周辺地区第一種市街地再開発事業（2022年度事業完了予定） □北3西3南地区優良建築物等整備事業（2019年度事業完了） □北3東11周辺地区第一種市街地再開発事業（2022年工事完了予定） ■開発済事業 □北2西3北地区優良建築物等整備事業2017年1月31日工事完了（札幌フコク生命越山ビル、sitatesapporo） □札幌創世1.1.1区北1西1地区第一種市街地再開発事業2018年5月31日工事完了（さっぽろ創世スクエア） 出典元：札幌市HP（2021年8月時点）

ご契約者様に
伺いました！

「アクティブシニア向け分譲マンション」を選んだ理由は何ですか？



この先に漠然と不安があつて。
でも高齢者向き住宅はまだ早いし
自由と快適さは譲れない。
全てを欲張れるのがここでした。
(60代 女性)



一人暮らしの母が気がかりで。
ここなら今まで通りの生活を
楽しみながら、安心して
暮らしてもらえそうです。
(60代 男性/80代 女性)

【東京個別説明会】開催中

ご予約はWEB
またはお電話で



LINE友達登録
はこちらから
フレイル情報なども配信予定!!



売主



運営・サービス提供



お問い合わせは「札幌リライフレジデンスギャラリー」

0120-1248-22

営業時間：平日11:00～16:00、土日祝10:00～18:00
定休日：水・木・第3火曜日（祝日は営業いたします）
（夏季・年末年始休暇有り）

札幌リライフ

検索

二次元コードから
公式サイトへ
アクセスいただけます



この一年を振り返って

東京旭川会 副会長 小松 仁 志



昨年引き続き新型コロナウイルス感染の影響で、総会・懇親会の開催見送りなど予定がごとごとく中止せざるを得ない厳しい状況が続いています。

旭川市の新型コロナウイルス問題は、当初は、比較的軽微と思われましたが、20年11月に基幹病院等にクラスターが発生したことを契機に医療機関の状況が連日のニュースで放映されました。そのような中、会員・役員の間で故郷の思いがけない窮状を目の当たりにして何とかしたいという気運が盛り上がり、東京旭川会の余剰金から旭川市に寄付しました。当会は、この他、クラウドファンディングやオンラインを通じて、酒蔵「男山」が運営するカタクリの花の自然公園の維持・開園費用調達や「食バマルシェ2020」など地場産品の購買などの案内をするなど努力しています。

このところの鬱屈した雰囲気の中、明るい話題もあります。旭川に縁のある人々の活躍です。

スポーツ関係では、東京オリンピックに、女子やり投げの北口榛花選手(23)と女子バスケトボールの町田瑠唯選手(28)の2選手が出場しました。

北口選手は、予選を62・06m、5位で通過し、57年ぶりに決勝進出しました。ただし決勝では、予選後から左脇腹を痛め55・42mで12位でした。インタビューでは、「笑っている私も、泣いている私も、両方自分なので、泣いている私を見て幻滅はしないでほしい。まだ自分が歴史を変えるチャンスはある。次はもっと元気に、世界大会のここ(取材エリア)を通れるようにしたい」と前向きな姿勢を示していました。町田選手は、チームの司令塔として大活躍しました。予選を勝ち抜き、体格では圧倒的に優るアメリカとの最終決勝戦に臨み、日本チームはバスケトボールで初めてのメダルを獲得しました。

両選手には、旭川人限らず多くの人が大いに夢と感動を貰ったと思います。

旭川に拠点を置く北海道初のプロバレーボールチーム「ヴォレアス北海道」があります。ヴォレアスは、国内最高峰のバレーボールリーグ「V.LEAGUE」に17/18シーズンから参戦し順

調に成績を上げ2部に昇格し、19年には1部昇格直前まででしたが、コロナにより入替戦が中止され2部に残留。20・21シーズンでは入替戦でV1大分と引き分け惜しくも昇格を逃しました。今後の健闘を期待しています。

<https://voreas.co.jp/>

ヴォレアス
北海道のHP



しているにも拘らずネット配信・CD販売など工夫して頑張っています。当会としても、情報を会員に提供するなどして支援に努めています。

20年11月にPR動画『ふるさとに出会えるようこそ 東京旭川会へ』を作成しました。是非ご覧ください。

3月末には当会の会報「ななかまど」41号を発行しました。引き続き多くの皆さまに当会の情報を発信していく所存です。今後とも宜しくご支援をお願いします。

<https://www.asahikawakai-tokyo.jp/index.html>

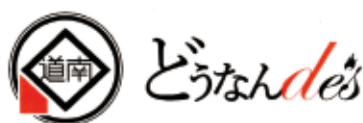
東京旭川会の
HP



(21年8月)



PR動画『ふるさとに出会える ようこそ
東京旭川会へ』(Youtube)
https://youtu.be/1aOU29m_NSw



北海道新幹線 入口の駅 木古内町
「道の駅 みそぎの郷きこない内」に
あるレストランです

木古内産はもちろん、海の幸や山の幸が共に豊富な道南エリアの各地から優れた食材を集め、食材の本来の持ち味をとことん引き出すメニューを揃えます。

レストランの名は『どうなん de's』。
(読み: どうなんデス)



北海道上磯郡木古内町本町338-14
TEL 01392-6-7210
ランチ 11:00 ~ 14:00
ディナー 17:30 ~ 20:45



木古内の特産品「みそぎの塩」をトッピングした一口サイズの「ばくばく塩パン」
木古内の新名物です！横浜の2号店3号店は
ふわふわのコッペンパンに色々な具材を挟んだコッペンパンが人気です

【木古内店】焼ききたて塩パンのお店

上磯郡木古内町字本町338-14
道の駅みそぎの郷きこない内 どうなん de's 隣接
TEL 01392-6-7210 FAX 01392-6-7211

【市が尾店】コッペンパン専門店

神奈川県横浜市青葉区市ヶ尾町1054-1
TEL 045-532-8443 FAX 045-532-8444

【横浜磯島店】コッペンパン専門店

神奈川県横浜市港北区磯島東4丁目3-17
アピタラス横浜磯島1F
TEL 045-859-9071 / FAX 045-859-9072



みんなの「あつけし」

新時代の創造に向かって

東京厚岸会 事務局長 石井 龍 児



厚岸町は令和2年7月町制施行120周年（明治33年施行）を迎えました。太古の昔から先住民が生活を営み、アイヌの言葉で「牡蠣がいるところ」が町名の由来となっています。江戸時代には東北海道の拠点として「アッケシ場所」が開設され、アイヌ民族との交易が盛んに行われていたほか、「蝦夷三官寺・国泰寺」が設置されるなど道東文化・歴史の発祥地としても知られています。

120周年を機に力強いまちづくりスローガンのもと、基幹産業の水産、酪農を中心に新しい動きがスタートしています。

○「厚岸霧多布昆布森国定公園」

令和3年3月、厚岸道立自然公園が「厚岸霧多布昆布森国定公園」として国内58カ所の指定を受け官報に告示されました。別寒辺牛湿原と霧多布湿原の希少な水鳥繁

○「厚岸ウイスキー蒸溜所」

厚岸の気候、海霧、良質な水、ピート（泥炭）、牡蠣などがウイスキー聖地のスコットランドアイラ島とそっくりと2016年に堅実業（株）（東京都千代田区）がモルトウイスキーの蒸溜を始めました。



厚岸ウイスキー



120周年記念式典



「厚岸霧多布昆布森国定公園」の花「ヒオウギアヤメ」、太平洋沿岸の標高約100mの断崖絶壁の上、100haと国内最大の規模、30万株の群生が広がる。

早くも、世界的な酒類品評会「サンフランシスコ・ワールド・スピリッツ・コンペティション2021」で2年連続最優秀金賞と金賞を受賞、英国の「ワールド・ウイスキー・アワード2021」でもカテゴリー「イナード」に選ばれ、いま、国内外で注目を集めています。釧路太田農業協同組合と釧路農業改良普及センターなどの協力を得て町内若松地区の畑で大麦を栽培、オール厚岸

産の蒸溜も始まっています。

○第42回「全国豊かな海づくり大会」

令和5年度、「水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川環境保全の大切さを広く国民に訴えらる」とともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、明日の我が国漁業の振興と発展を図ることを目的として、毎年各地で開催されている国民的行事が厚岸町で挙行されます。同大会は、「全国植樹祭」、「国民体育大会」、「国民文化祭」とともに、天皇皇后両陛下にお出ましいただく、「四大行幸啓」の一つとなっています。

○「厚岸漁港・衛生管理型漁港施設」

「厚岸地域マリンビジョン計画」が推進される中、水産物の衛生管理対策の強化を目的に新しい施設が完成しました。厚岸漁港は、沿道内外の沖合漁業の全国有数の流通拠点、沿

岸・養殖漁業の生産拠点として重要な役割を担っています。屋根付き岸壁や清浄海水導入施設の整備、高度衛生管理に対応した荷捌施設の新設等を行い、水産物の総合的な衛生管理対策の拠点となります。

ふるさと厚岸の動きに目が離せません！

我々も未来へつなげようと「厚岸町民の森植樹祭」に参加、春の訪れとともに咲き誇る「エゾヤマザクラ」を植え続けています。



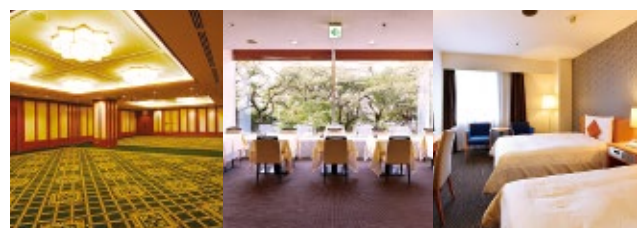
厚岸町民の森植樹祭

心満たされる 穏やかなひとときを

宴会・会議
BANQUET

レストラン
RESTAURANT

宿泊
ACCOMMODATION



アルカディア市ヶ谷
SH 私立 学 会 館 AN

<https://www.arcadia-jp.org>

JR線・地下鉄（有楽町線・新宿線・南北線）市ヶ谷駅 徒歩2分

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

宴会 03-6685-0540 宿泊 03-6685-0541

TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760

坂本龍馬と浦臼のかかわり(2)

：岩村農場と聖園農場：

東京浦臼会 事務局 後 藤 史 朗



浦臼町の中心部の浦臼内とその南に隣接する晩生内は、ともに高知からの開拓団によって開墾された。この2つの開拓団は性格がまったく異なっている。晩生内の開拓は北海道庁初代長官である岩村通利の長男岩村八作によるものでここに岩村農場が開設された。高知県宿毛市の郷土資料館には明治政府での岩村3兄弟の業績と岩村農場の資料が展示されている。岩村3兄弟は土佐藩山之内家の陪臣

であるが、武市瑞山、坂本龍馬が主導した土佐勤王党と密接に繋がっていた。3兄弟の剣術の師匠は、坂本龍馬が勝海舟の護衛に任命した岡田以蔵である。岩村通利が北海道開拓に熱心だったのは坂本龍馬の影響だと思う。一方、浦臼内の開拓は高知自由民権運動の流れである。明治維新の理想とは違い庶民の暮らしは苦しくなるばかりだった。高知自由民権運動のスローガンは「食える社会の実

現」だった。明治20年欧化政策の転換、言論集会の自由、地租税の軽減を求める運動が活発になると、明治政府は安保条例を発令して自由民権運動を弾圧し、武市安哉（武市瑞山の親戚）と坂本直寛（坂本龍馬の甥）らは投獄されてしまう。釈放後に行われた初の議会選挙で自由民権運動の指導者だった坂本直寛は県議員に、武市安哉は国会議員に当選した。2人は親戚関係にあったが、議員の活動を続けるうちに社会を変えるのは困難ととなり、それぞれ北海道にキリスト教に根ざした理想の社会をつくろうと活動を始める。

明治25年、武市安哉は国会議員として視察した北海道の可能性に魅了され、郷里の貧しい農民を移住させキリスト教に根ざした理想農村を実現しようと決意し、視察中に岩村通利、北垣国道（龍馬の盟友）から紹介された道庁農業技官が推薦した月形村浦臼内の原野189万坪（630町歩）の払い下げの手続きをした。翌26年3月の国会開会を待って、高知に帰り移民の募集と資金調達に駆け回った。移民の応募は順調だったが、払い下げの許可が下りたのは6月だったので集団移住は翌年に決定し、7月に26名の先遣隊を率いて入植した。武市安哉はここを聖園農場と命名し、キリスト教に根ざした理想郷の建設に着手した。明治27年春に第2次移住者が入植した。この中に北海道ふるさと会連合会理事の田村五郎氏の祖父田村楠衛がいる。田村楠衛は浦臼開拓時代の様子を記録した貴重な資料『あやま時代』を残している。浦臼は地味豊かで田村楠衛は入植3年後に米を75俵も生産していた。

日本一が不思議とある

山あい秘境の町 〆置戸町〆

東京ふるさと置戸会 会長 石 井 敏 明



昭和59年、丹下健三設計の代々木第2体育館で開催された全日本綱引選手権大会にて日本一3連覇を達成した。おけと人間ばん場一世の応援に駆け付けた置戸町出身関係者達が集まり東京ふるさと置戸会が発足した。

置戸の良さは力自慢ばかりでなく、置戸町の図書館活動のように文部省の農村モデル図書館に指定されたこともあり、昭和51年に図書館の住民1人当たりの貸出冊数が日本一へと昇りつめた。これは移動図書館「やまびこ号」が発端で本を読みたい人、必要とされる人達への利用が便利となるリヤカーから始めた移動図書館の貸し出し方式は「置戸方式」と呼ばれ全国へ広がる切っ掛けとなったことである。

日本の学校給食を変えた日本一有名な管理栄養士・佐々木十美は「母のような美味しいものを食べさせた

町製の製材会社勤務定年後移り住んだ多摩市の地域の皆さんとの交流を切っ掛けに置戸町と多摩市の子供達との交流会が25年間続いた。多摩市の子供たちが昭和3年に発見された「なきうさぎ」の住む置戸の子供達との交流や大自然を楽しみ、翌年は置戸の子供たちが初めてデイズニールランド等がある大都會を訪問し多摩市の子供達との交流会を楽しむ。その交流会での子供たちの様子を見てみると昔と変わらぬ置戸町の子供達と分かっている。その不思議である。又、当初参加した小学生が成人し結婚後、その子供が多摩市を訪れていることに驚きである。

置戸町の人間ばん馬大会は馬の代わりに人が丸太を曳いて競う競技で力自慢の集まりである。そのため綱引大会日本一3連覇は領けるものがあつた。

丸太の山



丸太の山



図書館



学校給食

今も置戸町と多摩市の間では災害時相互応援協定の締結関係にある。ふるさと置戸会では地元新聞「置戸タイムス」へ東京「ふるさとどおり」む便として定期的にメンバーが投稿し、交流や支援活動に繋がれば幸いと幹事一同が一丸となり努力を続けている。

道東の面白方言20選

ペンネーム Doutor dialeto (自称方言研究家)

自分は小学1年から高校2年迄の約10年間、道東釧路で暮らし道内大学卒業後就職↓転勤で1968年東京人となりその後50余年現在に至る。

釧路での10年間に会得した道東方言はいまだに全身に浸みついでいて抜けない。

正調の道東弁文化の伝承者の一人だと勝手に思い込んでいる。

道東、道央、道北、道南で微妙に異なりお互いに通じない方言も多々ある。

左表にまとめてみましたのでご家族皆様で楽しんでいただければ幸いです。

	問 題	回 答
1	あいつはいつもあやつけている	〇〇ふり〇〇
2	しばらく会わないうちに大きくなったなあ	〇〇ったなあ
3	あいつはいつも何でも欲しがる	〇〇とこ
4	炊き立てのご飯にいくら醤油漬け	飯が〇〇いく
5	隣の親父昨日お尻の日帰り手術したらしい	多分〇っちゃきだな
6	今日のおだちん少ないなあ	〇っ〇らべっ〇
7	バケツの水こぼすな	〇〇すなよ！
8	あいつの守備いつもへただなあ	〇〇いなあ
9	風呂わいたようだが多分熱いので	水〇〇〇きてくれ
10	何をいつまで不平言ってるんだ	何を〇〇く〇言ってるんだ
11	お邪魔した。またね	〇〇ら又ね！
12	あいつはいつも人のせいにするんだ	いつも人に〇〇ける嫌な奴
13	ルンペンストーブ買ってきてくれ	〇〇っきと十能も忘れるな
14	そんなに一心不乱にやらなくてもいいんだ	〇っ〇や〇こかなくてもいいんだ
15	雪の中よく来たな。	さあ雪を〇〇って入ってくれ
16	そりに乗りスピード出す方法教えてくれ	簡単さ。そりに〇っ〇ばるんだ
17	隣の家の高校ば一ず最近服装が不良ボーイね	最近〇っ〇い高校生になってきた
18	草野球の仲間に入れてくれないか	仲間に〇〇てほしい
19	いつもこの季節は霧が出てくるんだ	〇〇の季節とも言うんだ
20	ちゃぶ台をひっくり返す短パラな親父	ちゃぶ台を〇っ〇がす

解答はP34

おまけ 方言 20	おんちゃん	ぶすいろ	たなぐ
きかない子	糸がくまる	ガメル	こすい
めっこめし	かじかむ	きもやく	もぐす
ほっちゃれ	めっぱ	あっぺ	がんべ
かかさんない	つっべかる	かしがる	すっぱね
なんぼなんでもそれはいっしょ			

NO	方 言	意味と運用
1	おばんです (でした)	こんばんは。挨拶、電話で「もしもし、おばんです。」
2	ゆるくない	辛い。大変だ。「北見は、雪投げ (かき) が多くてゆるくないわ」
3	だはんこく	だだをこねる。わがままを言う。「だはんこいでも買わないよ」
4	はんかくさい	ばかげている。あほらしい。「なーに、はんかくさいことゆってんの」
5	いずい	しっくりこない。居心地が悪い。「目がいずいな」
6	なげる	捨てる。「ゴミをなげてきなさい。」
7	おだつ	ふざける。調子にのる。はしゃぐ。「コラ、いつまでもおだつな」
8	なまら	ものすごく。とても、非常に。「宝くじが当たって、なまら嬉しい。」
9	しゃっこい	冷たい。ひゃっこいともいう。「このかき氷、しゃっこくて美味しい」
10	ばくる	交換する。「車のタイヤをばくる」
11	ごんぼほる	だだをこねる。暴れる。意地はる。「酒飲んで、ごんぼほるな」
12	げっぱ	最下位、ビリ。「運動会で、げっぱになった。」
13	かっちゃく	引っこく。「猫にかっちゃかれた。」
14	あめる	腐る。痛む。「このご飯あめている」
15	うるける	ふやける。水を含んでいる。「風呂に長く入って指先がうるけた」
16	もちょこい	くすぐたい。こそばい。「もちょこいからもう止めて」
17	じょっぴんかる	鍵をかける。「じょっぴんかるの忘れたらだめよ。」
18	こわい	疲れた。だるい。苦しい。「長時間マラソンしてこわいわ」
19	あずましい	心地よい。安心できる。「この部屋暖かくてあずましいね」
20	おちゃんこ	座ること。「ちゃんとおちゃんこしなさい」
21	いたましい	もったいない。「まだ使えるのに投げるとはいたましい」
22	～べさ、～だべ、	～でしょう。～だ。「大リーグで中谷選手の活躍はすごいべさ」
23	みったくない	かっこわるい。ダサイ。可愛くない。「この犬、みったくないしょ」
24	わや	ひどいこと。「ばん馬で3万円すってわやだわ」
25	ちよす	触る。からかう。「弱いものをちよすな」

ふるさと北見で聞いた方言特集!!

東京北見会 幹事長 鈴木 富雄



「面白懐かしいふるさとの方言」に該当するかは不明ですが、我がふるさと北見に居た頃に、耳にしたり、話をしていた言葉 (方言?) をまとめてみました。その多くは北見のみならず、北海道や東北地方で使われているものや、今の時代には使われなくな

た言葉もありますが、振り返ってみると、懐かしき思い出の多い方言であることに気づきました。

失われた方言の復活もまた、その土地の風土や文化を知るうえでよろしいのかなと思います。

語り継がれる偉業、過ぎし歲月150年

東京木古内会 主査 中村 光 希



会員の皆様のなかには、故郷北海道を旅立った時のまわりの風景や家族の顔を、今もなお、鮮明に覚えている方がおられると思います。

当会員（東京木古内会）の方に話を伺うと、高校卒業後に東京を目指し、青函連絡船から見た北海道のことを懐かしむ声が聞かれます。現在の移動手段は空路あるいは北海道新幹線で北海道に帰省される方がほとんどかと思えます。フェリー等の船で北海道まで移動される方が少なくなつたでしょう。

時は遡り1857年、開国の嵐に揺れる江戸幕府の意によって一隻の船が誕生しました。その名は『咸臨丸』。1860年には木村摂津守喜毅、勝海舟、福沢諭吉などを乗せ太平洋を渡る偉業を



東京木古内会咸臨丸ポスター

成し遂げるなど、幕末の動乱期に日本近代化の歴史的象徴として活躍しました。しかし、晩年は時代変革の渦に巻き込まれ、軍艦から北海道への物資運搬船となり数奇な運命をたどります。戊辰戦争で敗れ北海道移住を余儀なくされた仙台藩白石片倉小十郎家臣団は咸臨丸に乗船し小樽を目指してました。1871年9月20日、木古内町サライキ岬沖で座礁し沈没。栄光と悲劇の14年の足跡を残して終焉を迎えました。

咸臨丸の14年の歴史は、混迷の時代に翻弄されながらも次代を担う英傑や鎖国から開国へと新しい時代を創造する英知を生んだ咸臨丸は今もなお、サラキ岬で静かに眠っています。

墨田区の居酒屋「やきとり奥尻」

会報39号表紙は北海道日本海の離島「奥尻島」の夕陽。北海道ふるさと会連合会の東京奥尻島人会は唯一の離島でその東京奥尻島人会は墨田区文花1丁目にある。1981年創業の「やきとり奥尻」を経営されているのが奥尻島人会坪谷正人会長。奥様と共に40年故郷奥尻の海鮮も食べられる住宅街の隠れ家のお店で値段も手頃。人気のメニューも豊富でアットホームな雰囲気のお店。今はコロナ禍で昼の食事だけの集客だがコロナが収束したら島のキタムラサキウニと奥尻純米酒で仲間と乾盃したい。

(広報部)



北海道銀行

ホームページ <https://www.hokkaidobank.co.jp/>

個人出版・会報などの制作いたします。
お気軽にご相談下さい。

株式会社 双文社

〒135-0052 東京都江東区潮見2-3-7

電話：03-6666-4747 FAX：03-6666-3104

HP：<http://www.soubnsha.co.jp>

税理士法人 すずらん

代表社員

公認会計士
税理士

林 敦

白三会（苫小牧東高）東京支部事務局

〒166-0002

東京都杉並区高円寺北一丁目17番5号

TEL 03-5318-9707 FAX 03-5343-7890

Email: zeirishi-suzuran@pure.ocn.ne.jp

今年、東京くつちゃん会が設立して

10周年にあたります

東京くつちゃん会 会長 高木 武良



昨年からのコロナ禍により今まで当たり前だったことが当たり前でない時代に突入しました。運動不足で体調に異変を感じている方も多いのではないかと察します。昨年はふるさと訪問も中止となり、残念ながら第10回総会も開催できませんでした。今年の11月に開催予定の第11回総会は設立10周年の記念すべき総会を迎えます。そのためにも政府のPCR検査の充実とワクチン接種の促進で是非とも総会開催が実現できることを願っています。また次回総会に

向けて10周年記念誌の発行を企画しています。設立当時の町役場の皆様の苦労話や、繰り返し開催されたふるさと訪問時の思い出、例えば駅前広場からスタートするじやが祭りの千人踊りにも飛び入り参加し、自然林に囲まれた神仙沼の散策をしたり、露天風呂からの羊蹄山・ニセコの雄姿を堪能したことなど、また総会後の懇親会の思い出などを満載にしたものにしたいと企画担当者には意気込んでいます。さて明るいニュースとして5月には町民の

待望の役場の新庁舎が完成しました。次回のふるさと訪問の時には是非とも立ち寄りたいと思っています。高齢者にも若い人たちにも安心・安全に暮らせる街づくりの中心として新庁舎が成果を発揮していただきたいものです。来年こそ是非会員の皆様が多数ふるさと訪問の旅にご一緒に参加されることを願っています。昨年オーブンした白老町のウポポイにも訪問したいと思っています。

札幌に想う

東京札幌会 松代 洋子



思いもかけないコロナ禍で、昨年春以来否応なしに家に居る時間が増えた。仕事も殆ど開店休業状態。有り余る時間に思いがけず本を読む時間が増えたのはなにより嬉しく自粛生活も悪くないと思う。

テレビも天気予報とニュースをみる位だったのが、確実にテレビをみる時間も増えている。先日、たまたまNHK・BSで藻岩山の番組をみる機会があった。標高531mの藻岩山は札幌育ちには登山というよりはもつと気軽にハイキングコースのような気がする。歩いて登ったのは中学か高校の遠足が最後。周囲の景色を楽しむ余裕もなく、ただひたすら黙々と歩いた記憶しかない。

先日のテレビでは、新緑の中を楽しそうに、途中高山植物をゆっくり楽しみながら笑顔で登っていくのをみいってしまい、思わず

私もゆっくり歩きたい、と思った。往復するだけであれば半日もあれば充分であるがそれだけでは勿体ない。山頂には素敵なレストランもある。札幌の街並みはもろろん、晴れていれば石狩平野や石狩湾を見渡しながらの食事を楽しむことが出来る。

父が転勤族だったので札幌で過ごしたのは中学・高校の6年間だけ。その間、中学の修学旅行で道東に行ったのと母の田舎の岩内と定山渓位しか行ったことが無かった。そんな訳で、年に1度開かれる高校の同期会には毎年出席、ただ札幌には同期会に出席するだけの短い滞在で、つい札幌以外の温泉地や観光地に足をのばしてしまう。

考えてみれば、ゴルフ場には市内から車で30分も走れば行ける、冬にはスキー場にも30分で行ける様な人口100万人以上の

大都市は世界広しといえども札幌以外にはないと思う。札幌は観光地・リゾートなのである。とても短い滞在で楽しめるところではない。

同期会出席の際には必ず1週間位滞在する友人がいるが正解だと思う。しかも中島公園側の部屋を指定して、朝な夕変わる景色を窓から写真を撮るのを楽しみにしている。

又、JTB時代の東京育ちの同僚は定年後、沖縄が札幌か迷った末に札幌にマンションを購入し、すっかり札幌生活を満喫している。先日、彼女に電話した所、楽天スタジアムで日ハムを応援していた。

初! 井・定食型 新業態店舗

松 松尾ジンギスカン

渋谷パルコ店(54席)
東京都渋谷区宇田川町15-1 渋谷パルコ7F
TEL03-3461-2985

北海道名物

松 松尾ジンギスカン

東京エリア 5店舗展開中

各店の営業時間等、詳細は
お電話またはこちらから
ご確認ください

秋葉原店(70席)
東京都千代田区外神田1-18-19 BiTO AKIBA 5F
TEL03-3255-2989

『秋葉原駅』電気街回
徒歩1分!

新宿三丁目店(74席) **TEL 03-3226-2989**
東京都新宿区新宿3-5-3 高山ランド会館5F

赤坂店(121席) **TEL 03-3585-2989**
東京都港区赤坂4-3-6 A-FLAG赤坂 B1

銀座店(67席) **TEL 03-3572-2989**
東京都中央区銀座5-9-5 チアース銀座2F

北海道ふるさと会 限定クーポン

10% Off ご飲食代から

※「北海道ふるさと会」会員様限定クーポンです。
※本券は「渋谷パルコ店」「秋葉原店」「新宿三丁目店」「銀座店」「赤坂店」でのみご利用可能です。※他券・割引券併用不可

来店時・ご提示で

回収印

コロナ禍での新たな会運営と ふるさと滝川の紹介

東京滝川会 副会長 栗原茂実



新型コロナで生活が一変し、ふるさとへの帰省もままならない状況が続いている中、北海道ふるさと会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年10月の北海道ふるさと会連合会会報に投稿されていた全ての会員の記事にコロナ禍の中で会の運営について苦慮されていることが記載されていました。予定していた総会、懇親会等の行事のすべてが延期・中止となり各会員様独自で工夫され、この難局を乗り切っているのが現実のようです。

我が東京滝川会でも年間行事である総会・役員会・懇親会、家族交流会等の集まりは全て中止とし、書面等で進めてきました。

昨春秋にコロナ禍における自粛生活の中、

少しでも会員の方々にふるさとを感じてもらおう目的で地元滝川産の米、野菜等の詰め合わせを会員にお届けしました。会員様からこの時期はつと、ふるさとを思い出した等のお話をいただきました。今後も地元特産品の活用やふるさと納税等を通して、ふるさと滝川市と東京滝川会の交流を図れればと思っております。

今年の総会、懇親会も中止となりますが、こうした中で新しい会の運営としてメール等のツールの活用により会員間及びふるさととの情報等を数多く発信することになりました。この方法により通信コスト削減による会費の見直し等で会員様の負担を軽減し、さらなる会員拡大に繋がればと期待しています。

この機会に我がふるさと滝川市をご紹介します。



滝川市 菜の花畑



滝川市 グライダー

させていただきます。

国道12号札幌・旭川の間位置し人口約4万人。石狩川と空知川が悠々と流れ暑寒別連峰をバックに雄大に広がる田園風景が自慢です。明治23年440戸の滝川屯田兵入植がスタートで今年市制63年です。

春は日本有数の作付面積を誇る菜の花畑。5月下旬から6月上旬には一面黄色い絨毯となり圧巻です。コロナ前は10万人も訪れたそうです。秋には丸加高原のコスモスも素晴らしいです。

また、滝川市が誇る全国トップレベルの設備を備えた「たきかわスカイパーク」でのグライダーの体験搭乗がおすすめです。スタッフが常駐し、いつでも一般の方の体験搭乗が出来るのは全国でここだけです。

そして最後に味付けジンギスカンの元祖、創業65年の松尾ジンギスカン本店で本場の味を堪能下さい。松尾ジンギスカンは、現在東京に5店舗（銀座・新宿・赤坂・渋谷・秋葉原）営業展開中です。北海道ふるさと連合会会員の皆様機会がありましたら是非ご利用頂き帰省した気分になって下さい。

北海道ふるさと連合会会員の皆様、1日も早いコロナの終息を願って頑張ってください。

銀座で創業42年、
都心の不動産のことならお任せを！

不動産の売買・仲介・管理・ご相談承ります

株式会社 八千代商会

代表取締役 堀川 哲夫（東京白老会・副会長）

公益社団法人
東京都宅地建物取引業協会会員
都知事免許(10)42450

〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目11番7号
電話 03-3545-1466 (代)
FAX 03-3546-3860

北洋銀行は
がんばっているあなたを
応援します。

HOKUYOファミリー
ほくと仲間たち

北洋銀行
www.hokuyobank.co.jp

ふるさと秩父別

東京秩父別会 会長 相馬

功



私のふるさと秩父別は、他の北海道と同じように、開拓民として明治二十八年に入植した屯田兵により開拓され、先人達のためめな努力により現在の肥沃な土地となり有数な米作りの町となりました。また、高級品とされるプロッコリーの作付け面積は、道内10位でこの粉末を使用したパスタ・ラーメン等おいしいもの一杯の町。そして大好評のトマトジュース「赤ずきんちゃん」も生産をしています。

面積は、広いと言われる北海道の中でも二番目の狭さの約四七平方キロで、一番広い北見市の三〇分の一。人口は約二千三百五十人で一番多かった時の約三分の一の小さな町ですが、「住んでよかった・生まれてよかった」と思えるまちづくりを行政が推進して町民が一体となって取り組んでいるお年寄りに優しい、子育てに優しい元気な町です。

私は高校を卒業後就職のため上京し、50年余り経ちました。ふるさとの思い出は、今のような車社会でなかったため、馬車（そり）に学校の帰りに乗せてもらったり、春・秋の秩父神社の例大祭の時、秩父神社・相馬神社で大衆演劇を見たり、お小遣いをもらって露天商を歩き回り買い物したり、川でザリガ



キュービック

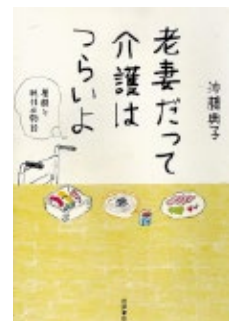


百年記念塔

ニを取ったり、笹舟を作り川に流して友達と競争したり、冬は、雪合戦をしたり、三条の山でスキーをしたり、また、町内対抗の大運動会では、各町内が対抗心一杯の応援で盛り上り楽しい時の思い出が一杯です。

故郷には市街地に高さ100フィートの展望室に設置された国内最大級のスウィンベルを備えた「開基百年記念塔」を中心とした「ベルパークちっぷべつ」には、日本一の屋外遊戯場「キュービックコネクション」、冬でも無料で遊べる子供屋内遊技場「ちっく」町民の憩いと安らぎの場で合宿施設を備えた秩父別温泉「ちっぷ・ゆう&ゆう」四百メートルの公認陸上競技場、炊事場やトイレの備えた買い物も便利なキャンプ場、パークゴルフ場、冬でも町民の皆が集える「ふれあいプラザ」等があり、道の駅にもなっており充電器も備えられています。また、「ベルパークちっぷべつ」から徒歩約10分の所には、反戦画家として知られる丸木俊の生家である善性寺には「原爆の図」等作品が多数展示されています。2020年に全通した無料の高規格道路「深川・留萌道」の秩父別パーキングエリアに隣接して「ローズガーデン」・観光体験牧場「めえ〜めえ〜ランド」・「子供冒険の森」があります。

会として取組んでいる施策として新型コロナウイルス禍において、役員が集まるとの会議が難しいことからZOOMを利用したパソコンにおけるテレビ会議を6月から実施中です。



冷房病
老妻だつて
介護は
つらいよ

は、ドリームカムトゥルーの吉田美和が池田町出身である。彼女は池田中学から帯広柏葉

故郷が生んだ名士群像

東京十勝池田会 会長 陶久

清



今年の直木賞に『心淋し川』で西條奈加（池田町出身）が選ばれた。十勝から初の直木賞作家が出たことで池田町が沸いている様子がNHK全国ニュースでも放映された。彼女は池田町生まれだが、中高生の頃は帯広市隣の音更町で過ごしたとのこと。

丁度この時期に、池田町に安井美裕新町長が誕生した。この新町長と西條奈加とは帯広三条高校で偶々同期生であったそうで、「池田町民の皆さんに勇気と元気を届けていたいただき感謝申し上げたい」と十勝ワインの特上非売品・マグナムボトルを彼女にお贈りしたこと。

実はこの直木賞作家以前に池田町からベストセラー作家が出ていた。『女が職場を去る日』で昭和54年にノンフィクション作家としてデビューしたのが沖藤典子である。彼女の作品はまもなくベストセラーとなり、山本

学・倍賞美津子出演で映画化された。彼女は室蘭市生まれの池田町育ち。池田高校（私と同級生）から北海道大学に進み、池高先輩の北大生だった旦那さんと学生結婚。卒業後（株）日本リサーチセンターに15年勤務した後退社、ノンフィクション作家として活動を始めた。苦難に充ちた生い立ちの経験から、世の中の矛盾点や現行福祉制度への批判や提言も併せて社会問題を世に問う著述家として82才の今も元気に活躍中である。

芸能界では、ドリームカムトゥルーの吉田美和が池田町出身である。彼女は池田中学から帯広柏葉



軽やかに最短距離で幸福に

東京中標津会 幹事 壽見 玲子



コロナウイルス感染症が流行する少し前に、自分の時間を大切に、自宅に在る生活・仕事をしたかった。今までの生活スタイルを変える行動を少しずつ始めていました。20数年医療事務と言う職業に従事しており、私にはこの仕事しかないと思える使命感を持って仕事に取り組んでいました。が、このような時代に突入し、この使命感は必要なのか？と疑問を持つようになりまして。内科と言う専門科で勤務し事務長という役職だった事から、自分の気持ちは見えない事にし、会社の為、患者様の為と奮闘の日々を過ごしていたのですが、命の危険を冒してまで、家族に心配かけながら働いている自分は自分らしく働けているのだろうか。そう思った私は、この感染症の流行と時代変化の波に乗る様に今までの生活スタイルを180度変えました。簡単に言うとお金より時間を優先したと言うことになりました。今こうして今振り返ると良いタイミングだったと思います。

長期間のステイホームが通常となった今、ストレスを抱えている方も多いと思いますが、私は逆に今まで時間がなくてできなかった事にゆとり向き合う事ができるようになりました。願っていた「自宅で仕事ができる」がより叶いやすい時代となったのです。このふるさと会の活動もそうですが、会社員時代は集まりにも参加できなかったり時間のない中で動いていたりました。

今思うと当時は相当呼吸が浅かったなと感じています。ふるさと会へ入会してすぐこのような時代に突入し活動には制限がありますが、ゆとりと活動に取り組む事が出来ています。最近の私は、会社員でいる事を辞め、犬服のオーダーメイドニット作製販売をする傍らで、アクセサリー小物の制作販売、そして周囲の勧めもあって水彩画を始めたのです。これをきっかけに、アルコリイックアートという絵画技法に出合い心を惹きつけられ、日々作品を作っております。

また、地域活動として2番組のラジオ番組のパーソナリティーをしておりますが、こちらもスタジオに行つて放送するスタイルではなく自宅で収録する方法をとっております。コロナ前は『スタジオ使いたいな』『生放送したいな』などの思いもありましたが、この時代このようなスタイルだった事から放送をお休み（ストップ）することなくリスナーさんに声を届ける事ができており、結果、良い方法だったと思っております。

不安やネガティブになりがちな世の中ですが、考え次第で幸せは目の前にある事を感じています。頑張らない方法で、みなさんも何か楽しめる事、1日何かひとつでも進歩が確認できることに取り組んでみてくださいね。私の大きな壁を乗り越えた経験話と共にエールをおくります。軽やかに最短距離で幸福に。



東京中標津会
幹事 壽見 玲子



地元 中標津町 FM
パーソナリティー



好きなことを始めたインクアートとバンドメイド



おかげ様で
雪印メグミルクスキー部は
75周年を迎えました。
今後とも変わらぬご声援を
よろしくお願い致します。



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク



雪印北海道100



東神楽町のたより

東京東神楽会 会長 安井 規雄



東神楽町は、旭川市から約10km離れたところに位置する人口約1万人の町です。東神楽町のたよりを2つお知らせします。

1 東神楽町のプレミアムブランド

東神楽町が最高品質と公認した商品だけが認定される「東神楽の種と実セレクト」。澄んだ水と空気、肥沃な大地から生まれる農産物や、卓越した職人が作る加工品などが登録されています。公式HPでは、認定商品の詳細や、生産者の「モノづくりに込めた想い」をご覧いただけます。



一部商品は、旭川駅

前イオンの「Souise Marche」での販売

や、通販サイト「オンライン北海道物産展」よりお求めいただけるほか、ふるさと納税の返礼品にもなっています。

2 産地直送野菜で町おこし

地元農家の有志が作る「ひがしから産直研究会」では、毎年、東神楽町ふれあい交流館で直売所を出店しています。農家直送の新鮮で旬な野菜や、パン・はちみつなどの加工品を販売しており、普段スーパーではなかなか見かけない珍しい野菜もあります。



思い出すまに

東京美唄会 会長 駕 海

徹



私が、美唄で過ごしたのは、石炭産業がまだ隆盛を誇っていた昭和30年代前半であった。

私の父は、三菱鉱業に勤務で、常盤台に新鉱業所を立ち上げるために九州から転動してきた。

父の転勤で私達家族は、美唄市常盤台に居を移したのであるが、九州から北海道までの転居で初めて当時の国鉄の特急一等寝台車と飛行機なるものを経験することになった。子供であった私は、初めて乗る乗り物に興味がただけであったが、後から振り返ると贅沢な

引っ越しだったと思う。それ以降、その時乗った寝台列車より豪華な寝台車に乗った記憶がない。父の思いやりだったのか得難い経験であった。

さて、まず、驚いたのは、海産物の違いであった。九州では崎戸島という島で育ったので、新鮮な海産物には不自由しなかった。したがって、当時は現在のように冷凍技術が進んでいないので、食卓に出てくる魚介類は最初の頃は食べる気がしなかった。

次に驚いたのは、やはり「寒さ」である。当時は温暖化の兆候もなく、夏を過ぎた途端

あたらしいエゾヤマザクラの名所に

東京美幌会 副会長 市川 冬兵衛



内地に住むようになってから、さくらといえば「ソメイヨシノ」が、相場になっていて、さくら開花宣言もソメイヨシノが、選ばれておりますが、内地のさくらには、色が薄いなど思っております。

北海道で観たさくらには、エゾヤマザクラという種類で、花弁が大きくなる色も鮮やかであることがわかったのもずいっと後のことで、標準和名は「オオヤマザクラ」といい、別名が「エゾヤマザクラ」あるいは、「ベニヤマザクラ」とのことです。

「美幌に桜の名所を創る会」とボランティアのみなさんが、2000年から、始めている植樹は、20年を超えエゾヤマザクラ3000本近くになりました。

エゾヤマザクラの名所には、新ひだか町の二十間道路、厚岸町の国泰寺老桜樹子野日公

園がありますが、美幌があたらしい北海道のエゾヤマザクラの名所になることが期待されます。

あざやかな北海道のエゾヤマザクラを鑑に、ぜひ美幌にお出かけください。



エゾヤマザクラ

急激に寒くなり、10月末には初雪をみて、そのまま「根雪」になってびっくりした。

しかし、子供は順応性が高いと言われていた通り、あつという間に雪に馴染んで冬は学校から帰るや否や、カバンを放り投げ板とストックを担いで町営のスキー場に毎日のように出掛けていた。6年生の冬には、どなたかの指導で競技スキーの真似事をしていた。

また、自宅の裏山は格好の斜面だったので、6歳下の弟と良く遊んでいたものだった。

ある日、何かの拍子で弟が滑って裏返しの状態（いわゆるデングリガエシ）で転げ落ちたことがある。最初、私は大笑いしていたが、その内青ざめて弟を追いかけていった。幸いな事に何事も無く弟が大泣きしただけであった。下手をしようとんでもないことになった事件で、今でも思いだしては弟に申し訳

ない気持ちになる。

雪にまつわる話は楽しいことばかりではなかった。ある日、かなり大雪が降っていたと思うが、学校からの帰り道いつもの道を歩いていた積りであったが、いつの間にか逸れてしまったようで、突然雪溜まりに足を踏み込んでしまい、胸まで埋まってしまい恐怖を感じたことを覚えている。幸い、自力で脱出できたが、雪の恐ろしさを初めて感じたときであった。

炭鉱マンは、皆酒飲みである。当時、父が大酒飲みだったこともあり、我が家では毎日のように「ストーム」なる酒飲み会が催されていた。その席で、私は、その都度「酒飲みな、酒飲む、のご意見なれう」と嫌味たっぷりの歌を歌い、父と同僚を困らせていた。今思いだしても、良き時代であった。

相撲と伊能忠敬と福島町と

―「北海道ふくしま歴史物語」―

北海道福島会 幹事 上口孝之



福島町教育委員会は、本年2月、町にゆかりのある偉人や、文化・産業の歴史を8つの物語で綴った「北海道ふくしま歴史物語」を刊行した。この図書は、町内の各世帯に無償で配付され、町のホームページでも公開されている。

福島町が「横綱の里」と呼ばれる所以は、北海道出身の横綱第1号となった千代の山と、力士で初めて国民栄誉賞を受賞した千代の富士が、福島町の出身だからである。もちろんこの図書には、2人の横綱も取り上げられているが、巻頭を飾るのは伊能忠敬である。

伊能が日本全国を測量して、正確な日本地図を完成させたことは、誰もが知っているところであるが、その測量を開始した地が、我が故郷福島町の吉岡であったことは、恥ずかしなが

ら、この図書を読むまで知らなかった。青森県の三厩から船で箱（函）館に向かうはずが、風の影響で吉岡に運ばれたという。

話は変わるが、定年退職後に江東区にある専門図書館を運営する法人に再就職した。昨年そこで、来館者向けのグッズを作ることにになり、江東区にゆかりのある人物や区内の名所を題材にした「しおり」（ブックマーク）を製作した。その中に伊能と富岡八幡宮（江東区富岡）を取り上げたものがある。伊能は50歳の時、下総国香取郡佐原村（現在の千葉県香取市佐原）から江戸に行き、深川黒江町（現在の江東区門前仲町）に居を構え、55歳で蝦夷地の測量に向かう。測量に出発する際には、必ず富岡八幡宮を参拝したといわれ、そ

の縁から境内に伊能の銅像が建立されている。因みに富岡八幡宮では、江戸時代に幕府から勧進相撲が許されて以降、約100年間に亘って境内で本場所が行われている。現代では新横綱の土俵入りが奉納される場所としても有名である。

定年退職して単身赴任生活が終わり、自宅に戻れたのを機に「北海道福島会」のお手伝いを始めた。そのお陰で、この図書を手にして読むことができ、生まれ故郷の福島町と第二の人生の仕事とスタートした江東区、そして、そこで作った「しおり」が、偶然にも伊能と相撲とで繋がった。これもまた故郷福島町がくれた何かのご縁であろうと勝手に結び付け、ほくそ笑んでいる。

拙稿をお読みいただいたいて、ご興味をお持ちいただけたら、是非、福島町のホームページで「北海道ふくしま歴史物語」をご覧になっていただきたい。

そのついでに「ふるさと納税」もお願い

故 太田靖子理事と「産直」の思い出

北海道福島会 幹事長 笹森博昭



太田さんは、病氣療養中のところ、2020年6月15日に永眠されました。コロナ禍が迫る中、同年1月、江戸川区の病院が最後のお見舞いになってしまいました。ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、太田さんは、「ふるさと会連合会」の理事とともに、「北海道福島会」の副会長として、会の活動に尽力を注いで下さいました。

当会の「総会・懇親会」に際しては、企画立案に積極的に参画し、アトラクションの選定、お土産品の選定に至るまで、「産直」では、販売品の選定、出店時の備品の準備から

事前の注文獲得に至るまで、精力的に取り組んでこられました。

また、太田さんは、「産直」の期間中、「ふるさと会連合会」の本部テントに詰めながら、当会のテント運営に気を配り、時にはお客様への商品説明、時には我々スタッフへの叱咤激励、そして、地元福島町からの応援メンバーを交えての歓迎会・反省会の開催等、連日遅くまで活動されました。そのパワーに我々は、ただただ驚かされてきました。

一方、太田さんは、「ふるさと会連合会」の「懇親会」では、自らマイクを握り、いつ

の間にか進行役になり場を盛り上げたり、反省会でも率先して幹事役となり時間の許す限りその会を続けていたりしました。

さらには、太田さんは、「産直」には特段の思いがあったように推察いたします。特筆すべきは、2018年の「産直」では、期間中に怪我を負ったにもかかわらず病院に行くどころか、代々木公園のテントの中で応急処置の治療を受けながら、自ら陣頭指揮をされていきました。翌年は、体調不良で入院中にもかかわらず、外出許可を取り、車椅子で代々木公園を訪れ、我々ははじめ、関係者を驚かせました。

太田さんと「産直」関連の会合、各種行事に同行した5年間、「幹事の心得」をご指導頂き本当にありがとうございました。心からご冥福をお祈り申し上げます。



いできたら……なんてね。返礼品の天日干しセツトの「ほっけ」の味は最高ですよ！

国道40号の

渡舟場と天塩大橋

東京天塩会 副会長

久保 宏 喜



『天塩町に振老という地域があります。この振老には天塩町と幌延町を境にする天塩川が流れている。この天塩川には、明治35年11月16日道庁告示により、下サロベツ6線に振老から幌延の追分に至る渡舟場がありました。然し、この渡舟場は大正10年6月9日改めて道庁告示で、西6線北3号に変更し、正式に振老と追分間を結ぶものだった。』

この渡舟場は旭川から国道40号線上にあり稚内へ通じる重要な渡舟場だった。渡舟場は両岸からワイヤーを張りそのワイヤーに滑車を取付け、その滑車から舟を繋ぎ渡河する方法だった。又、冬になると川が結氷するので、渡舟場の取扱人は氷橋を作って、その上を渡っていた。この取扱人には手当や補助があり、それにより運賃が決められていた。この渡舟場の取扱人は青木源吉さんといひ皆は青木渡舟と言っていました。

戦後、復興が進み交通量が増えると、渡舟では間に合わず橋が必要になり、昭和26年から工事が始まり、同32年9月に天塩大橋が完成し、同時にこの渡舟場も廃止になりました。(安岡忠義氏遺稿より撮記)

天塩大橋が架かる以前、一級国道が川によって分断されている場所は、当時の日本においてもここが唯一、最後の場所であったと言われていました。

この初代天塩大橋も経年劣化による老朽化が進み、大地震発生時の被害予測や車道の幅員が狭く大型車両のすれ違いが困難となっている状況もあり、平成25年から約7年かけて施工され令和2年10月に完成した新しい天塩大橋にバトンタッチされました。

ふるさとの魅力

北海道森町ふる里の会 会長

山形 威 文



2014年6月、「森小町」の最後の1本が枯死し絶滅しました。「森小町」は、ソメイヨシノと町固有の「堀井緋桜」を交配させた品種で、紅色の花弁の濃淡が1枚1枚異なっているのが特徴で、他の固有種の「駒見桜」「青葉枝垂」と共に貴重な桜として親しまれていました。1年後、絶滅したと思われていた「森小町」が茨城県内に持ち出され命をつないでいることが分かり譲り受け、元の場所に移植したところ紅色あでやかに花を咲かせてくれました。当町は、桜が町の花として制定されている桜の名所で、桜祭りの期間中は20品種以上の桜が咲き競う華麗さは10万人を超える花見客を和ませています。

道内の町で唯一、「ちよう」ではなく「まち」と呼ぶ当町の基幹産業は、海・大地及び森の恵みです。四季を通しての魚の水揚げの他「耳つり」という漁法で養殖したホタテは北海道を代表し、当町発祥の「いかめし」は全国駅弁大会等で常にトップの人氣を誇っています。糖度が高く、栗のようなホクホク感に人氣がある「みやこ」かぼちゃは首都圏でも好評です。また、森林が町面積の8割を占めることから木炭の生産が盛んで、「駒が岳木炭」は広く知られているところだ。

故郷は、遠く離れて異郷にお住いの方々にとっては、「心の拠り所」と言えましよう。そんなふる里の魅力は一言では語れません。是非、五感で感じ取って頂きたいものです。

東京遠別会会長

故西島秀雄氏を偲んで

東京遠別会 幹事長 岸

満 幸



今年3月、新型コロナウイルス感染で突然逝去された西島秀雄様・御令室文子様ご両名のご冥福を心からお祈り致します。西島氏は長年に渡り我が東京遠別会会長・役員を務め、ふるさと会の発展と共に遠別町との交流に多大なる貢献をされると共に、北海道ふるさと会連合会でも長きに渡り役員(直近では副会長)として活躍されました。

西島氏は私の高校の一年先輩で、気こころの知れた仲なのでいろいろなイベントにご一緒し、楽しい時を過ごさせていただきました。西島氏が率先されたものとしては、東京遠別会総会・役員会、ふるさと訪問(2019年が直近)、連合会の総会・新年交礼会、代々木の北海道フェア応援(2016年から遠別町ブース開設)、小学生バレーボール全国大会応援(2016年遠別少年団は混合で準優勝)、全国クロッケー大会(2019年遠別町が3位)、ジギスカン大会、ビール祭り、東京ドーム・鎌ヶ谷スタジアムでの「北海道日本ハムファイターズ」の応援、都市対抗野球応援(東京ドーム)、遠別出身松村一郎の歌謡公演や、郷土の写真家「泊和幸」野生動物写真展の見学などとても懐かしく思い出されます。西島氏はとても気配りされ

る方で、皆さんとはこれらイベントの後は、必ず一杯飲みながら語り合い、そして仕上げのカラオケでは謡で鍛えた自慢ののどを披露し大いに盛り上げてくれました。特に、遠別出身の演歌歌手「松村和子」の「面影しぐれ」は絶品で私も教えられ、度々ご唱和させていただき感謝しております。

お孫さんも誕生し享年71歳と未だこれからという時のご逝去、さぞご無念のことと推察いたします。西島氏の遺志を継ぎ残されたもので、東京遠別会並びにふるさと会連合会を盛り上げて行きたいと思ひます。



故西島秀雄連合会副会長

道日本ハムファイターズ」の応援、都市対抗野球応援(東京ドーム)、遠別出身松村一郎の歌謡公演や、郷土の写真家「泊和幸」野生動物写真展の見学などとても懐かしく思い出されます。西島氏はとても気配りされ

教えて! 道新先生

DOSHIN SENSEI

北海道新聞は、教育関連の紙面を毎朝届けます。

月	学びのひろば	教育・新聞で
火	まなびのひろば	ぐんぐん
水	ぶんぶんtime	道新夢さほ
木	中高生まなぶん	
金	くらし子育て	
土	お母さんまなぶん	
日	親子ササゲ	

おためしご購読のお申し込みは ☎0120-464-104 道新購読 検索 北海道新聞社

東京で故郷の食材を味わう

東京本別会 幹事 中川 正幸



以前、テレビ朝日の『じゅん散歩』を何となく見ていた。この日、高田純次さんは、都立大学駅前に立って、ぶらぶら歩き始めた。そして、一軒のパン屋さんを見つけ、ドンドン中に入っていく。満寿屋商店・東京本店、帯広を中心に展開する、パンの満寿屋商店の東京1号店であった。店のある目黒通りは、パン屋が集中するパン屋の激戦地という。

「お店のこだわりは、パンの生地を使う小麦だけでなく乳製品、小豆、じゃがいも、てんさい糖など十勝産食材を地元から直送していることです」と店員が説明すると、高田さんは、1つのパンを取り上げ、食べ始めた。

食べながら、「これは、北海道のパンに間違いがない。美味しいジンギスカンの肉だ」と一言感想を言った。『じんぎすかんパン』は、新鮮なラム肉を甘辛いタレで煮込んで調理したパンで、東京本店では一日限定二十個の販売。人気商品だと言う。

満寿屋関連のお店は東京に三店（都立大学、自由が丘、国立）あるが、東京本店に関しては、パンを焼く人も、販売を担当する人も、全員十勝の出身だという。

私は、番組を見て、早速お店を目指して、実地踏査に出発した。自宅の埼玉から東急東横線都立大学まで、片道2時間余り…。

やっとたどり着いて、店に入り、まず目についたのは、パンの原材料の生産者を紹介するコーナー。これは、テレビには出ていなかったが、写真入りで、食材が説明されている。

コーナーのトップは、我が故郷・本別町の前田農産。紹介文を



生産者前田茂雄さん（左）



満寿屋6号店「麦音」

読むと、本別から「春よ恋」「ハルキラリ」「十勝ポップコーン」を取り寄せていることが分かった。代表の前田茂雄氏は、「スマイル農業」で農業イノベーション2021優秀賞を受賞。以前2年間、NHKの「ラジオ深夜便」で十勝の農業の現状を生産者の目を通して報告していた。

満寿屋商店の杉山輝子会長・雅則社長親子は、テレビ東京の『カンブリア宮殿』に出演して、語った。2代目から現社長までに受け継がれた夢は、全商品に十勝産小麦だけ使用したパンの生産だ。

それが、2009年に開店した帯広の6号店「麦音」で成功した。これからも、地元農家と共存共栄を図り、地域の発展に貢献し続けるパン屋を目指す。

私も、故郷の味が充満した「じんぎすかんパン」を食べ、お腹も心も満腹になった。

しかし、現在は、コロナ禍で、三店とも閉店している。とても、残念である。

また、東京で、故郷・十勝の食材を味わえる日を心待ちにしている。

東京余市会の変革と故郷余市の思い出

東京余市会 理事 鶴田 義幸



東京余市会では本年4月、11年間会長を務められた園田前会長の想いを引継ぎ、宇宙飛行士の毛利衛氏が会長に就任した。

昭和52年創立の当会はまさに変革の時を迎えようとしている。

毛利会長は役員会で「役員会はオンライン形式で」次に「副会長の役割分担の具体化」さらに会則にある「余市町の発展を希求し、必要なる活動」を実施すべく行動するには。

そしてその第一段として「東京余市会と余市町の今後のありかたについて、会長と町長を中心に議論する」このような提案を矢張り早くに役員会上で、役員もその具体化に動き始めた。

6月19日、東京余市会会員30名、余市町は斎藤町長含め10名、余市町志高、生田校長も参加して計42名で拡大オンライン東京余市会が開催された。対面会議が開けない中で、ズームオンライン会議により余市町と当会会員が直接意見交換する機会に恵まれました。

毛利会長は会長就任挨拶の後、当会会員へのビジョンとミッションを説明。会員の高齢化と会員数の減少、コロナ禍での行事、会の存在目的を基に、会員として余市町に貢献することが生きがい、やりがいにつながり、町民も喜ぶ活動をすることを提案（一部抜粋）

齊藤啓輔余市町長は、余市町の人口は現在1万8千人台に減少している。地方創生の点から、今後残っていく地域は大都市の隣接地域とリゾート地域の2つの特性を持つ地域である。中村衆議院議員の尽力で、余市まで高速道路が開通し、2030年には倶知安町まで延長される。これにより、余市町は札幌、小樽の大都市隣接地区になり、リゾート地区のニセコと近接する。

余市はニシンと林檎の町であり、ニツカウ

キスキの工場の町である。これからは、更にワインがテーマとなる。

人口の減少は止まらないが、余市町はポテンシャルを持っている。余市町はワインに重点的に資源の配分をしたい。（一部抜粋）

役員一同、頭と体を使ってこの変革に対応しなければならない。

私事になるが生まれも育ちも余市町沢町である。道路を挟んで沢町小学校、後ろが丸山公園にある西中学校、歩いて5分で余市高校、

でそれが生活範囲であった。ヌツ川は小学時代は水量も沢山あり、海で泳いだ後川で泳いで潮を落とすものだ。海に向かってヌツ川の右が砂浜、左はシリパ山まで岩浜、夏に砂浜で潜るとハマグリや北寄貝が良く採れた。シリパ山の下ではたまにウニやアワビを潜って採った。（当時の漁師さんごめん

なさい）冬になるとスキーで山を駆け回った。竹鶴シャントエ（余市高校ジャンプ台）のランディングバーンを転ばず滑るのが小学生の目標であった。

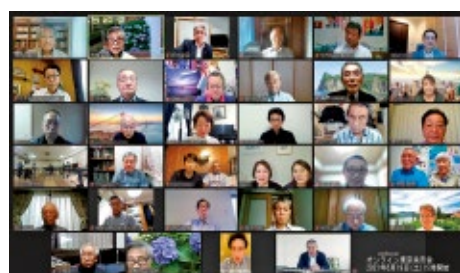
春の西中の運動会は桜が見事だったのを覚えている。

現在余市町志高

校同窓会東京支部の会長を拝命しているが、偉大な先輩のいるスキー部にも頑張っ

て欲しい。

余市はニシンと林檎の町であり、ニツカウ



ふるさと一巳と祖父の思い出

東京深川会 副会長 竹田正義



私の生家は、昭和38年合併して深川市になる前の「一巳村の北部「北新地区」」にあり、桜で有名な桜山の裾野に広がる田園地帯の中である。毎年5月には桜山祭が盛大に行われ祖父に連れられて見に行つたのを今でも思い出す。当時の住所は「雨竜郡一巳村」だった。

「一巳」は「イチヤン」「イチツヤン」どちらで呼んでも問題ないが、「イチツヤン」の方が私も含め多数派のようだ。

祖父は、石川県河北郡出身の屯田兵だった。明治8年生まれで、19か20歳の頃この未開

の土地にやって来たと言うから、明治28年頃の入植であろう。その後は、私の生家でもあり、現在も妹夫婦が住んでいる家を建て、荒野を切り拓き実に24町歩に及ぶ山林、田畑を得たのである。このような広大な田畑は、将来子孫に分配しようとの考えが当然あつて、もうけた子供が何と13人。私は長男の長男で何とも、賑やかな家庭であつた。祖父の部屋に、当時の「国策」に十分貢献したと、政府から授与された勲章が飾つてあつた。石川県の友人から届く郵便は「北海道石狩国雨竜郡一巳村字一巳」もあつた。

鉄道の町 新得町

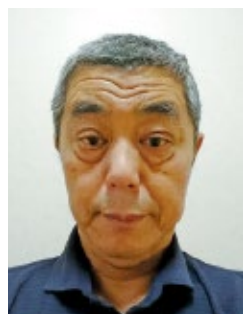
東京ふるさと新得会

事務局長 武田正信



北海道の鉄道の廃線の知らせが届くたびに寂しい思いを感じています。私の故郷の新得町は私が幼い頃から鉄道の町でした。

当時は駅舎・機関区・保線区が揃つていて、駅を中心に鉄道官舎がギッシリと立ち並んでいました。私の父親は駅舎の中で貨物掛りに努めていましたので、私は鉄道官舎で生まれ育ちました。小学生の頃はよく父親の仕事場に遊びに行つていて汽車や貨物車を眺めたり、機関車の運転席に座らせてもらったりしていましたが、昭和43年に廃止になりましたが、新得



昭和43年に廃止になりましたが、新得

からは拓殖鉄道という私鉄が走つていて、私はその小さな汽車が好きでした。沿線の瓜幕に親戚がいたので、よく乗っていました。乗るときには父親が運転手さんに頼み、無料で乗つていたような気がします。新得から瓜幕に着くまでの間、ずっと運転席の横に立つて前方を見ているのが楽しかったです。今でも乗り鉄ですが、ここから始まっているに違いありません。

新得から根室本線で札幌や旭川に向かう途中には狩勝峠という鉄道の難所があつて新得駅で列車の後ろに蒸気機関車を付け、重連で運行することがよくありました。小学校の時には汽車に乗って狩勝峠の上まで行き、頂上で降りて、歩いて帰ってくるという遠足の記憶があります。ずっと下りなので子供の足でも大丈夫でしたが、汽車好きとしてはそのま

私は北新小・中学校（中学も併設）の卒業である。学校は生家の真ん前にあるが、生家の前に新しい学校が建てられたのである。学校建築中は毎日のように見に行き、昭和21年やつと完成し、翌年ピカピカの小学校に入学したのである。3年前にふるさとを訪問した時は、中学校は既に一巳中学校と統合されていた。



北一巳駅ホームから音江山を背に

生家のすぐ北側に深川から留萌方面への高速道路が出来、高速バス等殆ど

ま乗っていたかったものです。昭和41年には新狩勝トンネルができ、路線の掛け替えて、急勾配の線路が廃止になりました。新得駅と新内駅の間が実験線になり、脱線事故の実験が始まりました。私を含めた中学校の放送部がそれを取材に行き、NHKのラジオで放送された事がありました。校外学習の日で、放送時間のお昼に先生のラジオで聞いたのですが、私の部分は終わつていて聞けませんでした。残念でした。

追記 北海道拓殖鉄道線（拓鉄）は大正14年起工し昭和6年全線運転開始となった。全長54・3km。新得、南新得、佐幌、屈足、熊牛、新幌内、中鹿追、鹿追、北笹川、自衛隊前、瓜幕、中瓜幕、東瓜幕、中音更、上土幌までの区間であつたが、戦後の悪性インフル、国と道からの補助金打ち切りやトラック輸送、バス路線の発達の影響をもろに受け、路線の縮小を図りながら営業を続けていたが昭和43年最後の新得―屈足間も廃止となった。

まま廃線になりそうです。石勝線があるからよいではなく、根室本線が分断される事は私にはかなりショックな出来事です。この区間の景色は素晴らしいものです。何とかもう一度見たいものだと思います。早くに故郷を出た私にとっては行く時も戻る時も鉄道が一緒でした。故郷を考えると、浮かんでくる原風景は、立ち並ぶ鉄道官舎と蒸気機関車の黒い煙です。

シリーズ① 懐古 ふるさとの廃線

北海道の今では廃線となってしまった鉄道が数多くあります。ふるさとを思うとき、若かりし日を思うとき、心の中に必ず浮かぶ。あの日の汽車!! 駅舎!! 風景は!! どれほど勇気を与えてくれただろう。そんな思いを寄稿いただきました。

母と私の天北線

天北線(南稚内〜音威子府) 148.9 km

北海道ふるさと会連合会 理事 金 曾 裕 一

満洲葫蘆島(現遼寧省)引揚船 ↓ 佐世保
↓ 汽車 ↓ 札幌と親子3人昭和21年の暑い夏、生まれ故郷札幌へ帰郷した。

父が炭鉱技術者で戦後天北線沿線の炭鉱に就職。昭和21年秋から天北線宗谷郡猿払村字浅茅野に移住。私は当時5歳の栄養失調気味

のひ弱だが活発な少年。

近くを走る汽車が「何だ坂こんな坂」と叫びながら苦しそうに登っては森の先に消えて行くのを毎日の様に見送っていた。そして次の汽車が来るまでレールに耳を当てて遊んでいた。待ち疲れ線路を枕にウトウトしてしま

い母に叱られた事も思い出される。

線路近くの白樺林で天北線の汽笛を聴きながら母と日暮れまで冬支度の燃料用白樺ガンビ剥がしの手伝。近くの猿払川の春先の増水時には汽車が来ないので釣り竿一本担いで母とウグイ釣り。夕飯のおかず。

戦後の少年の思い出作りは天北線と共に始まった。その天北線は1989年(平成元年)4月廃線となった。

思い出を沢山作ってくれてありがとう! 天北線!!

母と私の天北線。その最愛の母も本年5月旅立った。

私の池北線の思い出

ちほくせん

東京あしよる会 黒 木 憲



私の故郷足寄町を通る池北線は池田と北見を結ぶ全長140kmのローカル線でした。

年に2〜3度親に連れられ池北線を利用し、帯広に出て「千秋庵」のホットケーキを食べるのが楽しみの一つでした。

今から50年も前の話です。

当時は3月中に入社が始まるため高校の卒業式が終わると直ぐに内地へ就職のため故郷を離れていました。

3月〇〇日の13時〇〇分の汽車で佐藤君(仮名)が発しますとか、鈴木さん(仮名)が発しますとか、電話連絡が来まし

た。そうすると仲の良かった同級生や部活の後輩が集まり、駅へ見送りに行ったものでした。

ある同級生を見送りに行った際、10数人位見送りに来ていたのですが在学中に付き合っていた彼女の姿が見えないのです。「〇〇さん来てないな」と話をしてるうちに発車時間になり、たくさんの人に見送られ汽車は動き始めました。「おい見てみろ」と見送りに来ていた同級生が指さす先にホームに入っ

て来られなかった彼女の姿がありました。その友達の旅立ち光景を50年経っても鮮明に覚えています。(自分の話だったらよかったのに!)

池北線は「ふるさと銀河線」と名を変え営業を続けていましたが惜しまれながら2006年4月に廃線となりました。



ラッピング列車



全景旧足寄駅



昭和10年〜昭和62年までオホーツク沿岸

を走っていた汽車「湧網線」

東京常呂会 副会長 勢 簾 加代子



湧網線は、網走駅と中湧別駅を結ぶ89・8kmの路線でした。沿線には網走湖、能取湖、サロマ湖の大きな湖があり周辺の開発を目的として建設されました。昭和10年に網走から卯原内の間が開通し、戦争のため中断しましたが、戦後の昭和28年に全線が開通しました。数あるローカル線の中でも、車窓から見られる風景が美しい路線として知られていました。

しかし昭和35年より沿線の過疎化やモータリゼーションの進行で利用者が減り、国鉄民営化もあり、昭和62年に廃止されました。今ではサイクリングロードとなっており、駅舎や線路の跡は残っていません。

※ 私の湧網線の思い出

私は、常呂から網走の高校へ通っていたため家から近めだった北見富岡という無人駅から片道約1時間半の通学で利用していた。常呂駅で連結し2両になり、網走駅に向かうまで満員汽車になった。汽車通の友人も沢山出来交流も深まる汽車通ならではの、ひと



廃線間際の常呂駅



現在の網走駅

上川駅に夜中の2時頃 駅のホームで待っていたのは叔父叔母、停車時間内に名前を呼ばれハッ！と気が付くとサッと手渡された小荷物は、トウモロコシや草餅等々饒別も…再び涙！ 涙!! 私の青春時代の思い出の一つはあの湧網線であり、ここに余る程の記憶が蘇ってきます。

と時！ オホーツク海の雄大な外海、流水やカモメ飛ぶ鮮やかな青い空と海、そして能取湖の赤いサングラスの絨毯。反対側は緑一面の木々と畑や放牧された牛と馬、ポツリポツリと見える民家。二見ヶ丘の線路の両側には、刑務所の煙があり四人が農作業しながら、手を振っていた。のどかな湧網線の通学は、今として思えばとても贅沢な通学だったんだなと思います。



湧網線路線図

国鉄広尾線

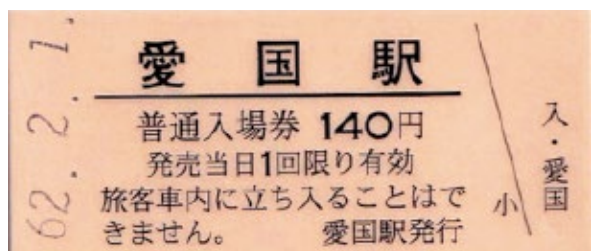
東京広尾会 会長 岡田 金一



国鉄広尾線は、広尾と帯広間17駅（広尾―新生―野塚―豊似―石坂―大樹―十勝東和―忠類―上更別―更別―中札内―幸福―大正―愛国―北愛国―依田―帯広）を結ぶローカル線で、昭和7年全線開通し、昭和62年2月に廃止されました。

広尾線といえば、昭和50年頃に『愛の国から幸福へ』の切符で全国的に有名になりましたが、私が広尾で過ごした18歳までの広尾線の思い出です。

広尾町紋別出身の私は約5キロの山道を自転車車で豊似駅まで行き、朝8時・夕方5時の2両編成の汽車（ジーゼルも汽車と呼んでいました。）で大樹高校まで通学していました。普段は学生と沿線の人たちが利用するまさにローカル線そのものですが、夏には内地から来たカニ族と呼ばれる若者も乗っていました。



昭和44年夏、帯広で行われた高校野球の十勝地区予選で大樹と広尾が対戦したときは、両校とも全校応援のため、広尾線は9両編成で運行されました。当時は両校とも一学年5クラスで全校生徒約600名でしたが、現在は広尾、大樹とも一学年1クラスで全校生徒90〜120名で存続の危機にあります。

十勝平野を南北に走る広尾線沿線は、ジャガイモ、ビート、大豆等の生産地であり、農産物や山からの木材の運搬等に蒸気機関車（SL）が活躍していました。真っ白な冬の平原を黒い煙を吐きながら力強く走る姿と石炭の匂いが今でも鮮明によみがえります。

廃線から30年以上経過し豊似駅跡は何も残っていませんが、愛国、幸福、忠類、大樹には旧駅舎が現存して、記念公園となっています。また、広尾線で活躍していたSLが愛国駅と大樹町柏林公園に保存されています。幸福駅は十勝帯広空港から近く帰省の都度懐かしい学生時代に利用したジーゼルに会いに寄っています。

皆様も是非、幸福駅だけではなく他の駅舎やSLも訪れて懐かしい昭和を感じてください。

『旧深名線第3雨竜川橋梁』の行く末 人手を離れ大自然に身を委ねる

東京幌加内会 三頭山編集室長 阿部 功 一



物心がついた頃からのとても思い出の深い鉄橋である。しかし、深名線の廃線と共に撤去される運命にあった。何とか保存をと、東京から私も身内や知人をせっついて署名集めをした。駅舎やレールや運航設備等が次々と取り払われてゆく。道内でも有数の極寒と豪雪の深名線の栄光がどんだん北の大地に埋没してゆく。この鉄橋は私の思い出だけではなく、深名線存在の生き証人であり、加えて由緒ある建造物であることも判明している。この鉄橋だけでも保存はできないだろうか。厳しい自然環境下において安全確保も含めて保存には莫大な費用が必要であると聞いた。ただ、地方財政の厳しい中、地元『第3雨竜川橋梁保存会』の方々の熱意と町の理解が功を奏した。所有者であるJR北海道殿の了承を得て幌加内町が文化遺産として保存を決定した。

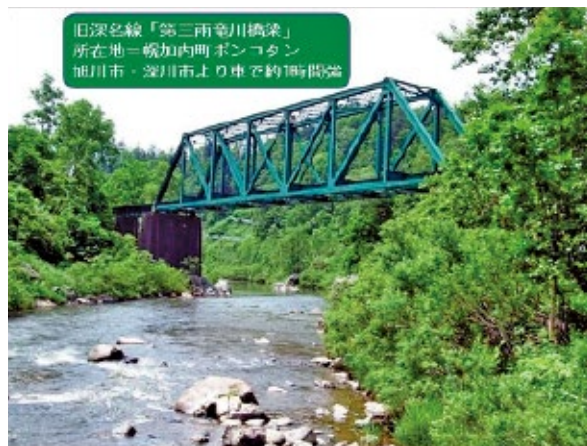
然にどつぷりと浸かっている鉄橋がまたぐ川床には岩盤が点在し、清流・雨竜川の流れがそれを囁んでいる。深名線では欄干の無い鉄橋が多い中で、トラス式のこの鉄橋は鉄骨が高々と囲いを組んで欄干を形成し、列車を包み込むような安定感をももっている。その欄干は濃緑色に塗られていた。春の草木の淡い緑を競わせ、夏にはむせ返る緑と調和し、秋の紅葉の中に緑を際立たせ、はたま白一色の厳冬期に緑をもつて安全の道しるべとさせたか、いずれであつたらう。少年の

頃、鉄橋下の岩場で弁当をひらき頭上に鉄橋を仰ぎ、眼下に雨竜川をのぞき見た。4〜5両の木製の客車を引いた蒸気の煙が緑一色の山間を切り裂いてくる。巨大な動輪が橋上のレールの継目を勢よく叩いて往く。ゴトンゴトンと鉄橋が唸りを上げ、その響きが雨竜川の兩岸にこだまする。岩をかむ雨竜川の瀬音もこの時はしばし黙り込み、周りの木の葉が震える。そして至極それが義務であるかのように「がきども」が橋上の蒸気に向かって手を振り、機関手が帽子のあご紐を引き締め直し敬礼をしてくれる。こんな光景を演出してくれた、ゴトンゴトンと大きな声で威厳を放ったあの鉄橋は、幌加内町ポンコタンの地

で凜として生き続けている。保存から18年がたった。毎年夏場の草刈りと冬場の橋上の雪下ろしを続けてきた地元保存会は、高齢化と人出不足で解散となった。わが東京幌加内会も毎年の総会時の保存支援のカンパを中断した。幌加内町は莫大な維持費用の負担を断念し、自然に朽ちるに任せる決定をしたと知らされた。いずれも苦渋の選択だ。

「鉄ちゃん」や「撮り鉄」ならずともぜひ「第3雨竜川橋梁」を訪れて見てください。かつて橋上を爆走した蒸気の雄姿を、大自然の中に垣間見えること受けあいです。

この鉄橋は幌加内町ポンコタンにある。何度か列車でこの鉄橋を渡ったが、その時は気には留まらなかった。初めて間じかに仰いだのは、長い砂利道の遠足の時だったか、今では車で舗装された国道275号線添いからたやすく一望できる。幾星霜の風雪に耐えて齢90年、ポンコタンの自



幌加内第三雨竜川橋梁



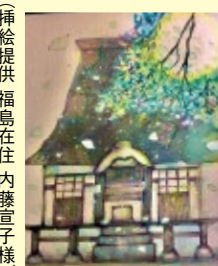
寄稿頂いた廃線路線図

道東の面白方言20選 解答

1	いいふりこき	11	したら又ね
2	おがったなあ	12	ひとにかつける
3	ほいとこ	13	でれっき
4	飯がはいく	14	はっちゃき
5	多分がっちゃきだな	15	ほろって
6	こったらべっこ	16	ねったばる
7	水まかすなよ	17	とっばい
8	おぞいなあ	18	かぜてほしい
9	水うめてきてくれ	19	ガス
10	何をごもくそ	20	かっぱがす

シリーズ② ふるさと北海道の民話

私たちが幼い頃父母や祖父母がいつとなく話してくれたふるさとに言い伝えられている伝説や昔話を総称して民話というのかもしれない。それらは今でもしっかりと私たちの心に残っているのではないだろうか？ 北海道にもたくさんの方々が民話を語り伝えられている。皆様からお寄せいただいた心温まる民話を紙面で紹介し懐かしいあの頃を思い出し北海道の伝承文化の民話に今一度命を与え伝えて行けたら意味があるのでは。コロナ禍の清涼剤として楽しんでいただければ幸いです。



挿絵提供 福島在住 内藤宣子様

足寄のアイヌ伝説

「姿を消したコロポックル」

東京あしよろ会 顧問 五十嵐 邦 男



昔むかしアイヌが初めて足寄にきた頃、コロポックルという小さな先住民が路の葉の下に住んでいました。

コロポックルは神の様に優しかったが、決して姿を見せようとはしませんでした。平和な日々を過ごしていたある時、食べ物

に困っているアイヌのことを知ったコロポックルは、サケや鹿の肉を真夜中にそっと差入れたり、大きな路の葉に向かって話すアイヌの願い事を必ず叶えてやりました。

ある日、ひと目その姿を見たいと思ったアイヌの若者は、そっと魚を差し入れてく

れたコロポックルの手を掴んでむりやり家へ引き入れてしまいました。見ると足には小さなコロポックル靴を履き口や手にはきれいな入れ墨をした可愛い女の子だったのです。アイヌの若者に姿を見られた可愛いコロポックルは嘆き悲しみ、それ以来姿を消してしまいました。

アイヌの人たちは悲しみました。そして優しくしてくれたコロポックルのことを忘れないようにとこの地を「神の降りた所」アシヨロベツと呼ぶようになりました。

*昭和40年発行の町勢要覧によると、一般に

「アシヨロ」は太古アイヌの神が天から降りた所「降りる」すなわち「ベツ」「川」であると紹介。

*更科源藏著「アイヌの伝説集」では「コロポックル」を「お人よしでおとなしい人」と表現。知里真志保著「地名アイヌ語辞典」によると「コロポックル」を「路の葉の下の人」と訳す。



足寄町役場広報提供

中標津民話・

「愛染ニレ（ふたりのハルニレ）」

東京中標津会 会長 藤井 俊文



「愛染ニレ」の民話は令和2年12月に北海道ふるさと会連合会OB会誌に東京中標津会の西澤章二前会長が寄稿したもので、中標津郷土館が発信しております。皆さんにぜひ読んで頂きたく、転載いたします。

◇

円山公園の片隅に、少し前まで根元を二本にした一本のニレの木がありました。そのニレのことを人は「愛染ニレ」と呼んでいました。

その昔のこと、根室平野を横断する標津川には、秋ともなれば「アキアジ」が群れをなしてのぼりました。河床を遮るほど上がつてく

るアキアジは、アイヌ達の生活を潤していました。その頃、標津川にのぼってくるアキアジは虹別アイヌの暗黙の権利で、虹別アイヌは秋のアキアジ捕獲を一大行事にしていたところがある年のこと、標津沿岸はかつてない大凶漁に見舞われ、サケを生活源とする標津アイヌにとっては死活問題となっていました。ついには標津川へのぼるアキアジに手を出してしまいました。はじめのうちは河口でとっていたのですが、いつしか川上へ川上へとアキアジを追っていききました。こうなつては、虹別アイヌも黙ってはいられません。アキアジは虹別アイヌにとつても

冬の生活になくてはならないものだからです。幾たびかのチャランケ（談判）のかいもなく、ついに血で血を洗う戦いまで発展してしまいました。

虹別アイヌのコタン（村）で一番美しい娘「ツンランケ」と標津アイヌの若者は将来結婚を約束した仲でした。これまで、中標津では年に一度、虹別アイヌと標津アイヌの交易が行われており、若い二人にはそれが一年に一度だけ会える日でしたが、今年の場合は交易どころではなく、戦もますます激しくなる一方でした。けれども、愛し合う二人のデートは何者にも邪魔することのできないものがありました。

しかし、ようやくの思いで会えた二人でしたが、喜んでばかりはいられず、コタンの違う者同士での結婚は、ただでさえ難しいのに、戦が始まってしまつては二人の思いは諦めるしかないのかと、その運命を嘆き悲し

み、泣き明かしました。

するとどうでしょう。二人のその涙はいつしか雨となり、やがて大雨となり、標津川を氾濫させました。木をなぎ倒し、山を割るほどの勢いの標津川は、たけり狂いました。

標津川の神様は、アイヌ達の醜い争いを怒ったものの、若い二人の清い恋には温かい目で見てくれるように、二人のいる所を迂回し、三日三晩荒れに荒れた標津川は、二つのコタンの戦いを終わらせました。荒れた川が静まり、晴れた秋空に落ち葉が舞う中に二人は血潮に染まっていました。

悲恋を嘆き、二人が天国の恋を結んだ所は、今の円山公園で、その「愛染ニレ」は、二人の血潮が芽になって成長したものだということでした。

おしまい

北海道福島会 太田靖子さん逝く

連合会 会長 新家 鶴男

改めて、故太田靖子氏に哀悼の意を表します。

福島会・故靖子さんとの出会いは、平成19年第13回北海道産直フェアが代々木会場で初めて開催され、別海会のテントが隣り合わせたことです。その時、福島会のテントは大勢の皆さんがいてにぎやかでした。「特に元気のいいひと」靖子さんに圧倒されたのを覚えています。靖子さんとは同級生と言うこともありウマがあい、それ以来、連合会産直部会役員として、口喧嘩しながらもお付き合いをしていただきました。茶目っ気があり、ちよつと口が悪い大きな声で話する姿は今も私の脳裏にくっきりと残っています。

役員会などでは何故かいつも私の隣に座っていて、色々と世話を焼いてくれました。また意見がなかなかまとまらないと、時として「これいいですね」と一言、素早い決断を示し並みいる男どもも太刀打ちできない場面が



故太田靖子理事



ありました。

飲み会・カラオケ・研修旅行などなど沢山の思い出があり語りつくせません。

この写真は、彼女が入院中に福島会総会に出席した時のスナップです。大勢の皆さんに「早く元気になって復活してほしい」と声を掛けられていましたが、病に勝てず帰らぬ人となりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

よき思い出をありがとう。靖子さん。

合掌

西島さんを偲んで

連合会副会長(産直担当) 下田 和房

今年の3月に逝去されました西島秀雄氏(遠別会会長・連合会副会長総務担当)との忘れられない思い出。また、今の私の思いもこの書面を、お借りして書かせてもらいました。



てます。まだまだ有りますが、思い出はここで終りとします。

最後に私の方からの思いです。西さん、3月からコロナとの闘い本当にお疲れ様でした。でも、お先には、辛いです。まだまだ約束事があるんですよ。覚えてますよね。遠別町訪問ですよ。2度訪問して、肝心の利尻富士の全容を、見る事が出来なかったね。2度目の時に、言ったよね。3度目は、間違いなく見えると。西さん、どうしましょう。亡くなる数日前に、夢の中で会いましたよね。その後も同じように、会いましたよね。これからも色々な事を、教えてください。それではこれで終りにします。

西さん、安らかに休み下さい。

西島さんと連合会で知り合い20年、共に産直部会でしたがいつの間にか、西さん・下さん、と呼ぶようになってました。西さんとの忘れられない思い出と言えば、「親睦旅行」。毎回、幹事部屋で夜中の3時頃になって酒類の片付けをした事。それと、西さんの決断力の素晴らしさも有りましたね。ご存知の方もいると思います。ある時、大雪の翌日に西伊豆に出発。ところが高速道路が渋滞、このままだと到着が朝になるとの事。そこで西さん、旅行会社と折衝、最後のチャンスとなる川崎でUターン。東京湾アクアラインで一路、千葉県鴨川に向かった事も。最も忘れられない事件でも有りました。この事は、今でも語りぐさになっ



離れて暮らす家族をつなぐ。みまもり訪問サービス



訪問

月1回、訪問し
会話を通じて10項目の
生活状況を確認



報告

確認した生活状況を
ご家族などに
メールまたは郵送で
ご連絡

Webページでは豊富なオプションのある「郵便局のみまもりサービス」の詳細をご案内しています。

みまもりつながる、家族のあんしん。 URL : <https://www.post.japanpost.jp/life/mlmamori/>



みまもり訪問サービス

お会いしている時も、そうでない時も。
「安心」と「楽しみ」をお届けするサービスです。

月額
2,500円 (税込)

- ☒ 子どもにはあまり
心配をかけたくない
- ☒ 今の生活は何かと不安



このような
お悩みは
ありませんか？



- ☒ 実家が遠くてなかなか
会いに行けない
- ☒ 会話することで
元気になってほしい

皆さまのお悩みの解決を郵便局がサポートします！



- 郵便局社員など※がご利用者さま宅などへ月1回訪問し、ご利用者さまとの会話を通じて生活状況を確認します。 ※ 弊社が委託したものを含みます
- 確認した生活状況や訪問した社員からのコメントは、ご家族などのご指定いただいた報告先へご連絡します。
- ご利用者さまのご希望により写真やメッセージなども添付できます。

さらに！「みまもり保険※」で万が一のときも安心！

ご利用者さま(みまもられる方)が日常生活でケガをして入院された場合の補償が無料で付帯されます。

補償金額 日額3,000円×入院日数(最大30日)

※ 引受保険会社を東京海上日動火災保険株式会社とする「総合生活保険」の補償内容によります。また、「みまもり保険」は「総合生活保険」の愛称です。

☎ お問い合わせ先

郵便局のみまもりサービス お客様サービス相談センター

固定電話から 0120-23-28-86(フリーコール) 携帯電話から 0570-046-666(通話料有料)

受付時間：平日9時～21時、土・日・休日9時～17時

首都圏でも 北海道電力の 電気が使えるんです!

ほくてん

北海道電力の **お安い** 電気料金プラン

北海道ベーシックプランB・C

東京電力エナジーパートナーの「従量電灯B」「従量電灯C」と比較して、
電気料金が**必ずお安くなる**料金プランです。

新規お申し込み特典

ぜひ、この機会にご自宅の電気を北海道電力に見直しませんか?

10 基本
料金を カ月間 **20%割引**

子どもがいて電気を
使うから助かります!

4人暮らし

〈年間〉 40A契約で月間400kWh
ご使用の場合

1年目は **約8,700円**

2年目以降は **約6,400円**

動画を観る時間が
増えたので嬉しいね!

2~3人暮らし

〈年間〉 30A契約で月間300kWh
ご使用の場合

1年目は **約4,400円**

2年目以降は **約2,700円**

※首都圏エリアとは、栃木県・群馬県・茨城県・埼玉県・東京都・千葉県・
神奈川県・山梨県・静岡県（富士川以東）となります。離島供給約款が
適用されている地域は除きます。 ※お支払い方法は、クレジットカード
払いのみとなります。 ※契約電流が15A以下、またはオール電化住
宅の場合は、お申し込みいただけません。 ※おトク額は、東京電力エ
ナジーパートナーの従量電灯B・Cとの比較です。

さらに

ご契約の
みなさま**全員**に
毎年必ず
プレゼント!

お肉や野菜、人気のスイーツなど「選べる」5つのコース!

北海道産グルメが **選** べて **も** ら える!



A お肉コース
松尾ジンギスカン食べ比べ
(特上ラムも 400g、特上マトンコース 400g)



B スイーツコース
レアチーズケーキ 雪丸
(2個、約4人分)



C ドリンクコース
サッポロクラシック
(350ml×6 缶) ※送料別



D 野菜コース
グリーンアスパラガス (約800g)
またはじゃがいも (約3~5kg)



E グルメコース
JA'sの
富良野のスープカレー3種
(はたて260g、チキンレック300g、
豚バラ260g)

プランの
詳細はこちら!



お申し込みはこちらから!

右記のQRコードから必要事項をご登録→
STEP 1 プロモーションコード欄に
北海道ふるさと会連合会専用コード**388**を
お忘れなくご入力ください。
パソコンの方は <https://req.qubo.jp/hepco/form/switching>
こちらから→



STEP 2 1~2日以内に届くSMSまたは
メールに記載のアドレスに
アクセスし、クレジット情報を
ご登録で手続きが完了

ほくてん ベーシックプラン 検索

ご興味・関心のある方は、
お気軽にご連絡
ください!



ほくてん首都圏お問い合わせ窓口 **0570-028-855**
受付時間: 平日9時~17時 (年末年始、5月1日は除く)

北海道電力株式会社 本店所在地: 〒060-8677 札幌市中央区大通東1丁目2番地



PREMIST

プレミスタワー新さっぽろ
Shin-Sapporo

新・さっぽろ、未来の新基準区。

プレミスタワー新さっぽろ

(仮称)メディカルD

エネルギーセンター(1階)

記念塔病院

新札幌整形外科病院

新さっぽろ脳神経外科病院

アクティブリンク

共用駐車場(D-Parking)

ホテル

商業施設

サンピアザ

カテプリ

JR「新札幌」駅

新さっぽろ
アーケスティホテル

duo1

地下鉄「新さっぽろ」駅
「新設地下鉄出入口(予定)」

アクティブガーデン

CHANGE the MIRAI

I街区周辺
概念図

北海道初、^{※1}JR・地下鉄 駅・商業・医療 直結 (予定)
プロジェクト

地上30階建て・全220戸のタワーレジデンス

先着順申込受付中

モデルルーム
公開中

資料請求、
公式サイトはこちら



※1: JR駅・地下鉄駅・商業施設・医療施設が空中歩廊・アクティブリンクにて直結する新築分譲マンションは北海道において初めてとなります。住宅流通研究所調べ(令和3年8月時点)。JR「新札幌」駅(徒歩6分・約420m)、地下鉄「新さっぽろ」駅「新設地下鉄出入口(予定)」(徒歩4分・約270m、令和5年11月完成予定)、商業施設(徒歩2分・約120m、令和5年11月開業予定)、医療施設(「新さっぽろ脳神経外科病院: 徒歩3分・約170m、新札幌整形外科病院: 徒歩2分・約140m、記念塔病院: 徒歩2分・約90m、(仮称)メディカルD: 徒歩2分・約310m)と空中歩廊・アクティブリンクで直結予定。空中歩廊・アクティブリンクを利用しない場合は1階メインエントランスより、JR「新札幌」駅(徒歩4分・約310m)、地下鉄「新さっぽろ」駅「新設地下鉄出入口(予定)」(徒歩4分・約280m)、1階サブエントランスより、商業施設(徒歩2分・約130m)、医療施設[新さっぽろ脳神経外科病院: 徒歩3分・約180m、新札幌整形外科病院: 徒歩2分・約130m、記念塔病院: 徒歩2分・約110m、(仮称)メディカルD: 徒歩1分・約60m]。空中歩廊/令和5年10月完成予定。アクティブリンク/令和4年7月完成予定。※I街区周辺概念図に掲載の「新さっぽろ駅周辺地区G・I街区開発」に関する名称は札幌市ホームページ(令和3年8月時点)を基に作成しています。※計画地及び周辺建物の形状は設計図書を基に描き起こしたもので、実際とは多少異なる場合があります。形状、仕様、外構等については行政官庁の指導及び、設計・施工の都合により変更が生じる場合がありますので、予めご了承ください。※事業完了予定時期/G街区(徒歩9分・約710m): 令和3年3月完成済、I街区: 令和5年11月。なお、事業完了予定時期は変更となる場合があります。商業施設(徒歩2分・約130m)、令和5年11月開業予定、医療施設[新さっぽろ脳神経外科病院: 徒歩3分・約180m、新札幌整形外科病院: 徒歩2分・約130m、記念塔病院: 徒歩2分・約110m、(仮称)メディカルD: 徒歩1分・約60m] 令和4年7月開業予定、ホテル(徒歩2分・約140m) 令和5年10月開業予定、共用駐車場(D-Parking)(徒歩1分・約70m) 令和3年3月完成済、アクティブガーデン(徒歩3分・約190m) 令和5年8月完成予定、エネルギーセンター(徒歩1分・約60m) 令和4年6月開業予定※各施設の完成予定時期は変更となる場合があります。※完成していない施設の距離表示については正式な入口位置が決定していないため、施設敷地の本物件最寄り箇所まで計測しており、今後変更となる場合があります。予めご了承ください。※duo1(徒歩3分・約240m)、新さっぽろアーケスティホテル(徒歩3分・約240m)、カテプリ(徒歩4分・約300m)、サンピアザ(徒歩5分・約340m)、イオン新さっぽろ店(徒歩5分・約400m)※植栽は特定の季節の状況を示すものではありません。また、竣工時には完成予想図程度には成長してならず、位置・形状・樹種等は実際とは多少異なる場合があります。※植樹する樹種は変更になる場合があります。※掲載の情報は令和3年8月現在のものです。

■プレミスタワー新さっぽろ【全体概要】●所在地/北海道札幌市厚別区厚別中央1条6丁目493-37 他●交通/JR千歳線「新札幌」駅から徒歩4分、地下鉄東西線「新さっぽろ」駅(4番出入口)から徒歩4分●用途地域/商業地域●構造及び階数/鉄筋コンクリート造地上30階地下1階建一部鉄骨造●総戸数/220戸(別途:管理事務室1戸、ゲストルーム2戸、バーティールーム1戸、フィットネスルーム1戸、スカイラウンジ1戸、スカイゲストルーム1戸、ワーキングラウンジ1戸)●敷地面積/4,234.35㎡●工事完了予定年月/令和5年5月中旬予定●入居予定/令和5年7月下旬予定●管理形態/管理組合と管理会社(大和ライフネスト株式会社)との間で管理委託契約を締結●施工会社/フジタ・大成建設特定建設工事共同企業体●建築確認番号/第BVJ-SPR20-10-0330号(令和2年6月30日)、第BVJ-SPR20-11-0330号(令和3年3月2日)、第BVJ-SPR20-12-0330号(令和3年7月7日)●売主/大和ハウス工業株式会社 マンション事業本部 〒102-8112 東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号 電話:03-5214-2143 建設業許可番号/国土交通大臣許可(特-2)第5279号、宅地建物取引業者免許番号/国土交通大臣(15)第245号、(公社)東京都宅地建物取引業協会会員、(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟●販売代理/株式会社住創プランニング 〒005-0004 札幌市南区澄川4条1丁目1番40号 電話:011-817-9000 免許番号/北海道知事 石狩(9)3900号(公社)北海道宅地建物取引業協会会員、(公社)全国宅地建物取引業協会加盟●インターネット使用料(月額)/990円(税込)●エリアマネジメント会費(月額)/380円【第1期1次先着順物件概要】●販売戸数/1戸●販売価格(税込)/6,970万円●間取り/4LDK●一戸当たりの専有面積/92.33㎡(トラクルーム面積/0.61㎡含む)●バルコニー面積/20.05㎡●管理費(月額)/15,700円●修繕積立金(月額)/9,300円●管理準備金(一括)/48,400円●修繕積立基金(一括)/923,300円 ※修繕積立金は「修繕積立金」と「全体修繕積立金」を合計したものです。●先着順申込受付場所/「プレミスタワー新さっぽろ」マンションギャラリー●ご持参いただくもの/ご登録の際は印鑑(認印可)と直近2年分の収入証明書(源泉徴収票・確定申告書、住民税課税証明書等)及び本人確認書類(運転免許証)をご持参ください。●広告作成日/令和3年8月30日●取引条件有効期限/令和3年11月30日 ※先着順販売につき、売却済の場合はご了承ください。●お客様の個人情報の利用目的について(大和ハウス工業株式会社)弊社は、個人情報保護法を遵守し、弊社または弊社グループ企業が行う次の事業【※】に関するご案内・ご提案、契約の締結・履行、アフターサービスの実施、お客さまへの連絡・通信、新しい商品・サービスの開発、およびお客さまに有益と思われる情報の提供などのために、お客さまの個人情報を利用させていただきます。【※】住宅、リフォーム、集合住宅、マンション、商業店舗開発、建築、不動産分譲、不動産仲介、環境・エネルギー、損害保険代理店、ホテル、インテリシアなどの各事業

お問い合わせは
「プレミスタワー新さっぽろ」マンションギャラリー



0120-432-220

営業時間/10:00~18:00
(火・水曜定休) ※祝日を除く

ダイワ 新さっぽろ



http://dhms.jp/shinsapporo

(売主)



大和ハウス工業株式会社 マンション事業本部

(販売代理)

株式会社
住創プランニング

会報第39号制作編集スタッフ

金曾 裕一 (東京札幌会) 広報部会長
 秋山 憲一 (東京ふるさと新得会)
 宮高 隆 (東京登別げんきかい)
 勢旗加代子 (東京常呂会)
 熊谷 譲 (東京木古内会)
 黒木 憲 (東京あしょろ会)
 板垣 誠 (東京根室会)
 奥山 範夫 (東京恵庭会)
 信田久美子 (東京・別海ふるさと会)
 山中 茂樹 (東京札幌会) WEB制作
 (株)双文社 印刷



編集後記

(コロナに明け暮れた令和2年～3年)
 昨年1月18日新年交礼会、2月12日理事会
 を最後に連合会行事は全て中止又は延期。
 令和3年の現在も不慣れた生活継続。この間
 ふるさと会連合会の皆様も社会活動制限と
 感染恐怖の不安の毎日と推察しております。
 そんな中皆様の安らぎとなる話題満載
 の会報編集を目指し広報部は6月11日に会
 報39号の10月発刊配布に向け、昨年10月に
 続き2度目のコロナ禍での編集挑戦となっ
 た。

表紙は東京奥尻島人会様と奥尻町役場様
 のご協力でゆったり流れる島時間を感じる
 画像を頂き素敵な表紙となりました。あら
 ためて御礼申し上げます。

特集企画思い出のふるさと鉄道、北海道
 各地の民話。楽しんでいただけたら幸甚で
 す。沢山の寄稿、写真お寄せ頂き有難うご
 ざいました。広告掲載頂いた企業会員様各
 社様に感謝御礼申し上げます。

コロナの完全収束はもう少し時間がかか
 りそうですが皆様とご家族様のご健勝を広
 報部員一同祈念いたします。

(広報部YK)

★ 乾杯を
もっとおいしく。
SAPPORO

丸くなるな、
★星になれ。

大人の★生。
サッポロ生ビール
黒ラベル

旨さ
長持ち
麦芽!!
-不使用-

ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

サッポロビール株式会社
www.sapporobeer.jp